

地域福祉活動に関する
活動者アンケート調査結果報告書

平成 29 年 3 月

豊川市社会福祉協議会

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	2
2	調査対象	2
3	調査期間	2
4	調査方法	2
5	回収状況	2
6	調査結果の表示及び記述方法	2
II	調査結果	3
問1	性別は、どちらですか。	4
問2	年齢について教えてください。	4
問3	住んでいる地域（小学校区）はどちらですか。	5
問4	現在の所に何年ぐらいお住まいですか。	6
問5	活動を何年続けていますか。	6
問6	1か月のおおよその活動日数を教えてください。	7
問7	活動を通じて良かったことは何ですか。	8
問8	活動について、どのように感じていますか。	9
問9	現在、活動をしている中で困っていることは何ですか。	11
問10	活動をする中で困ったときの相談相手について教えてください。	12
問11	活動にあたり連携が必要と思われる他の組織団体は何ですか。	13
問12	活動をすすめていく上で、受けてみたい研修は何ですか。	14
問13	活動を取り組みやすい区域について、どのようにお考えですか。	15
問14	様々な地域福祉活動を推進していく上で、豊川市社会福祉協議会に期待することは何ですか。	16
問15	様々な地域福祉活動を推進していく上で、豊川市に期待することは何ですか。	17
問16	地域にある様々な福祉活動に必要な情報を、どこから得ていますか。	18
問17	様々な地域福祉活動を行う上で、地域住民の要望をどのように把握していますか。	19
問18	誰もが安心して暮らしていくために、地域で特に重要なことは何だと思えますか。	20
問19	地域福祉活動を社会福祉協議会・関係団体・市民と協働で進めるにあたって、どのようなことが特に必要だと思えますか。	21
問20	地域の中で特に支援が必要と思われる方はどんな方々ですか。	22
問21	ボランティア活動者以外の地域での役割があれば教えてください。	23

Ⅲ 自由意見	24
(1) アンケート	25
(2) 福祉観	26
(3) 近所づきあい	28
(4) 地域交流	28
(5) 地域活動	29
(6) 社会参加	32
(7) ボランティア	32
(8) 福祉活動	38
(9) 民生委員	40
(10) 福祉ニーズ	43
(11) 高齢者ニーズ	45
(12) 子育てニーズ	46
(13) 障害者ニーズ	47
(14) 教育ニーズ	48
(15) 相談窓口	48
(16) 情報	50
(17) 生活環境	51
(18) 交通・交通マナー	51
(19) 生活安全	53
(20) 職員	53
(21) 公共施設	54
(22) 行政ニーズ	54
(23) 所感その他	56
Ⅳ 調査票	58
(1) 民生委員児童委員・主任児童委員	59
(2) 福祉委員	67
(3) ボランティア活動者	75

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

豊川市の『第3次地域福祉計画』と一体で『第4次地域福祉活動計画』を策定するにあたり、市内の居住する地域福祉活動を実践する民生委員児童委員や福祉委員等に対して、アンケート調査を行い、地域で活動していく上での問題、課題の把握を行い、計画策定の基礎資料とすることを目的とします。

2 調査対象

豊川市在住の民生委員児童委員（主任児童委員含む）、福祉委員（協力員含む）、ボランティア

3 調査期間

平成28年11月1日から平成29年1月31日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
民生委員児童委員	298通	255通	85.6%
福祉委員	1,310通	715通	54.6%
ボランティア活動者	415通	247通	59.5%

6 調査結果の表示及び記述方法

- ・問1～問5について、民生委員児童委員については、回答を求めています。
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを□で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・「平成23年度調査」とは、平成24年3月に取りまとめた「地域福祉活動に関する活動者アンケート調査結果報告書」のことです。
- ・「平成23年度調査」との比較については、統計上の誤差を勘案し、5ポイント程度の開きがあるものを記述しています。

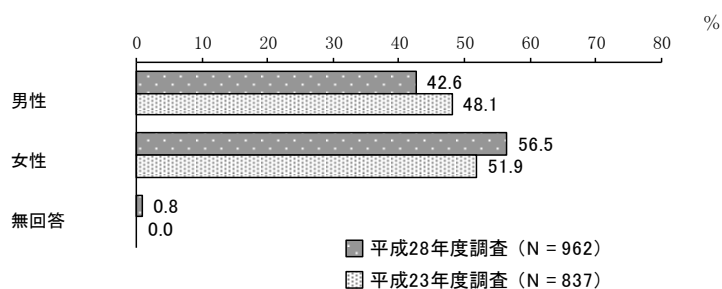
II 調査結果

II 調査結果

問1 性別は、どちらですか。【〇は1つだけ】

「男性」の割合が42.6%、「女性」の割合が56.5%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「男性」の割合が減少しています。



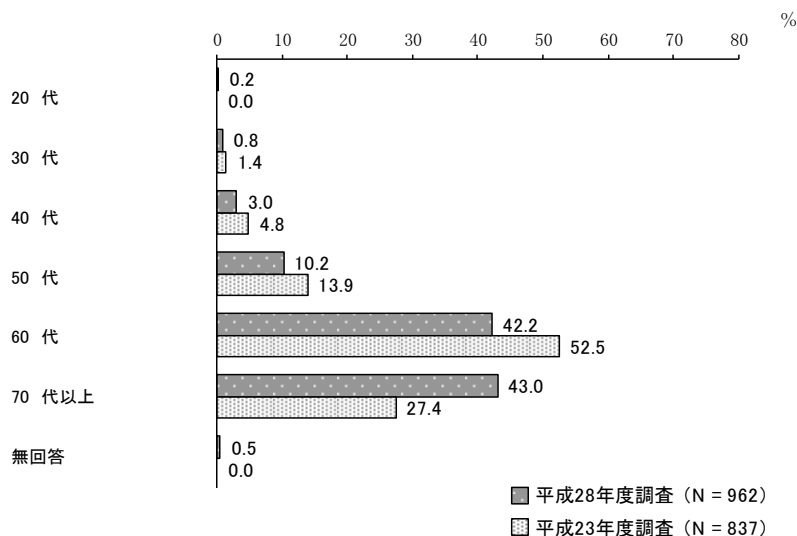
単位：%

区分	有効回答数(件)	男性	女性	無回答
福祉委員	715	44.9	54.3	0.8
ボランティア活動者	247	36.0	63.2	0.8

問2 年齢について教えてください。【〇は1つだけ】

「70代以上」の割合が43.0%と最も高く、次いで「60代」の割合が42.2%、「50代」の割合が10.2%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「70代以上」の割合が増加しています。一方、「60代」の割合が減少しています。



単位：%

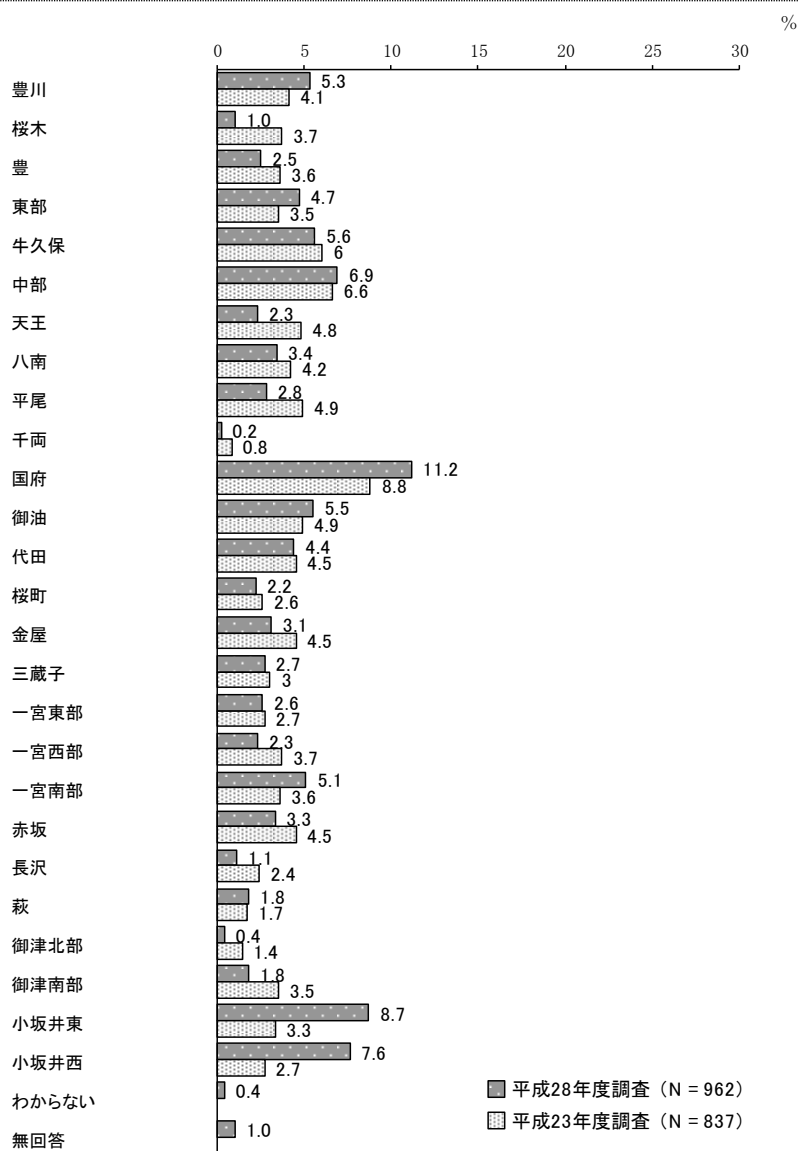
区分	有効回答数(件)	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
福祉委員	715	0.1	0.7	2.9	9.7	43.8	42.4	0.4
ボランティア活動者	247	0.4	1.2	3.2	11.7	37.7	44.9	0.8

問3 住んでいる地域（小学校区）はどちらですか。【○は1つだけ】
わからない場合は、町名をお書きください。

「国府」の割合が11.2%と最も高くなっています。

平成23年度調査と比較すると、「小坂井東」の割合が増加しています。

活動者区分別でみると、福祉委員で「国府」の割合が、ボランティア活動者で「豊川」の割合が高くなっています。



単位：%

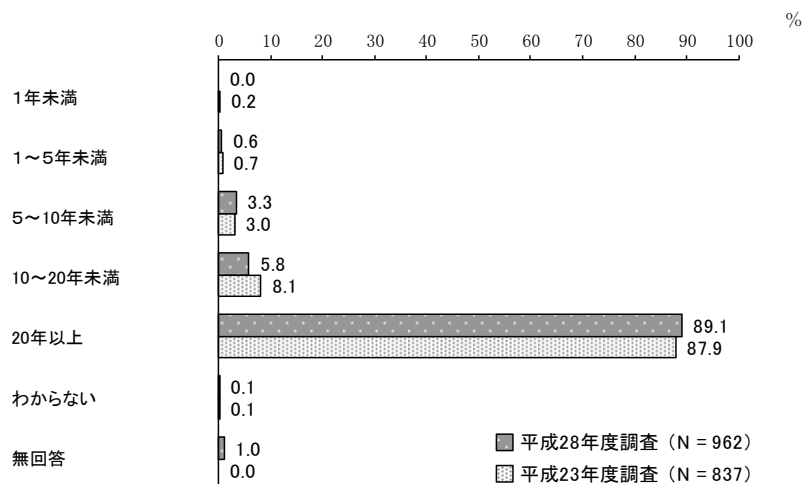
区分	有効回答数	豊川	桜木	豊	東部	牛久保	中部	天王	八南	平尾	千両	国府	御油	代田	桜町
福祉委員	715	2.4	1.0	2.1	3.4	5.9	7.4	2.5	3.5	2.8	0.1	13.8	4.9	5.0	2.5
ボランティア活動者	247	13.8	1.2	3.6	8.5	4.9	5.3	1.6	3.2	2.8	0.4	3.6	7.3	2.4	1.2

区分	金屋	三蔵子	一宮東部	一宮西部	一宮南部	赤坂	長沢	萩	御津北部	御津南部	小坂井東	小坂井西	わからない	無回答
福祉委員	2.7	2.8	0.3	2.1	6.7	2.7	1.1	2.0	0.4	1.7	10.6	8.8	0.4	0.4
ボランティア活動者	4.5	2.4	9.3	2.8	0.4	5.3	1.2	1.2	0.4	2.0	3.2	4.0	0.4	2.8

問4 現在の所に何年ぐらいお住まいですか。【〇は1つだけ】

「20年以上」の割合が89.1%と最も高くなっています。

平成23年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



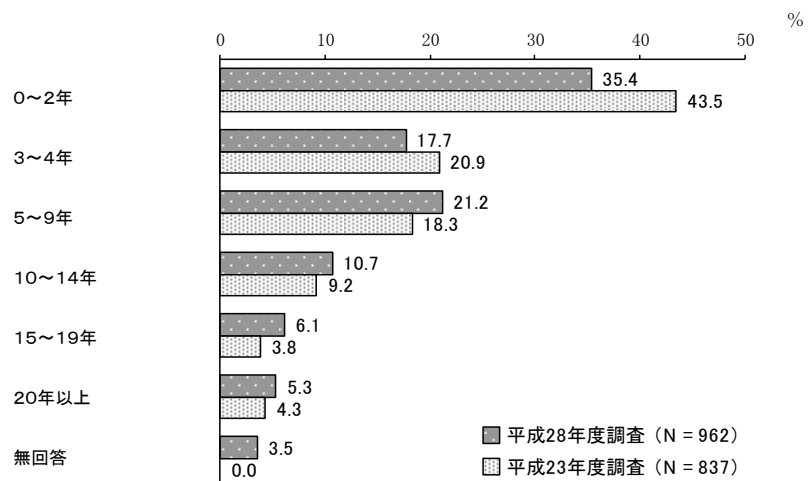
単位：%

区分	有効回答数(件)	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20年以上	わからない	無回答
福祉委員	715	—	0.4	3.2	5.2	89.9	0.1	1.1
ボランティア活動者	247	—	1.2	3.6	7.7	86.6	—	0.8

問5 活動を何年続けていますか。【〇は1つだけ】

「0～2年」の割合が35.4%と最も高く、次いで「5～9年」の割合が21.2%、「3～4年」の割合が17.7%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「0～2年」の割合が減少しています。



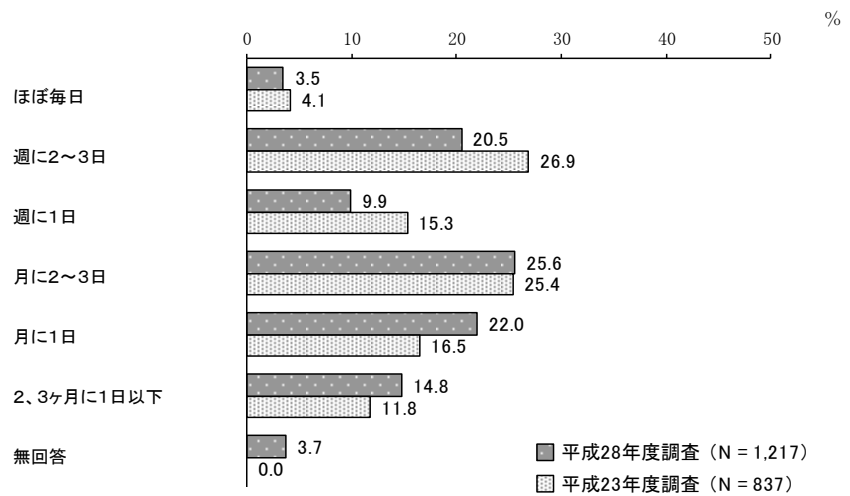
単位：%

区分	有効回答数(件)	0～2年	3～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20年以上	無回答
福祉委員	715	44.9	21.1	19.9	7.6	2.8	—	3.8
ボランティア活動者	247	8.1	7.7	25.1	19.8	15.8	20.6	2.8

問6 1か月のおおよその活動日数を教えてください。
【〇は1つだけ】

「月に2～3日」の割合が25.6%と最も高く、次いで「月に1日」の割合が22.0%、「週に2～3日」の割合が20.5%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「月に1日」の割合が増加しています。一方、「週に2～3日」「週に1日」の割合が減少しています。



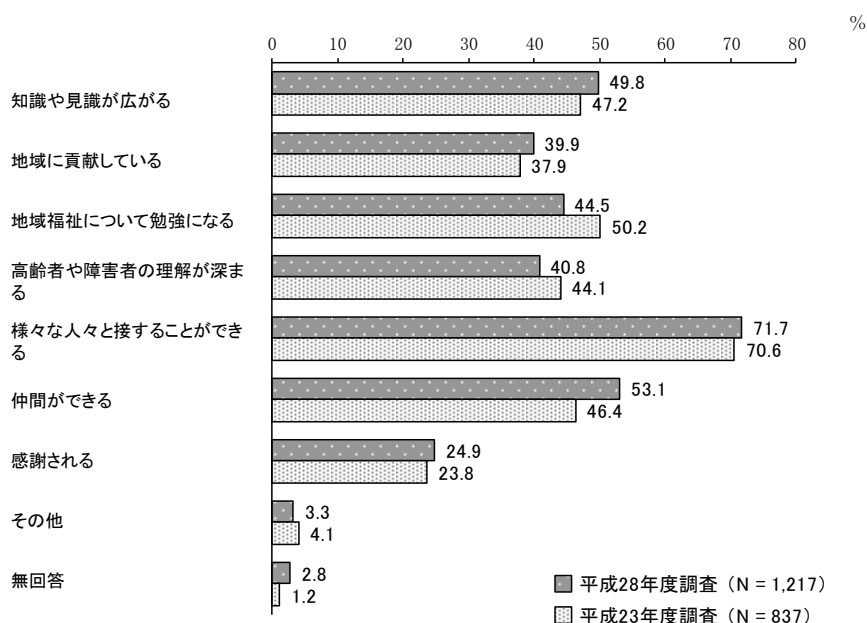
単位：%

区分	有効回答数(件)	ほぼ毎日	週に2～3日	週に1日	月に2～3日	月に1日	2、3ヶ月に1日以下	無回答
民生委員児童委員	255	6.3	67.1	12.5	8.2	2.0	—	3.9
福祉委員	715	1.5	6.0	7.1	30.1	30.3	20.8	4.1
ボランティア活動者	247	6.5	14.2	15.0	30.8	18.6	12.6	2.4

問7 活動を通じて良かったことは何ですか。【あてはまるものすべてに○】

「様々な人々と接することができる」の割合が71.7%と最も高く、次いで「仲間ができる」の割合が53.1%、「知識や見識が広がる」の割合が49.8%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「仲間ができる」の割合が増加しています。一方、「地域福祉について勉強になる」の割合が減少しています。



単位：%

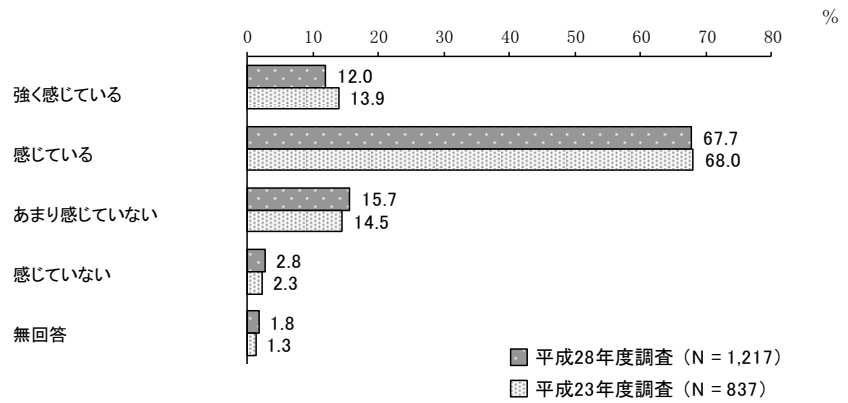
区分	有効回答数(件)	知識や見識が広がる	地域に貢献している	地域福祉について勉強になる	高齢者や障害者の理解が深まる	様々な人々と接することができる	仲間ができる	感謝される	その他	無回答
民生委員児童委員	255	60.0	45.9	62.0	52.5	72.2	47.5	31.4	2.0	3.5
福祉委員	715	45.6	36.2	42.7	36.9	69.5	50.1	17.8	3.5	2.9
ボランティア活動者	247	51.4	44.5	31.6	39.7	77.7	67.6	38.9	4.0	1.6

問8 活動について、どのように感じていますか。

① やりがい【〇は1つだけ】

「強く感じている」と「感じている」をあわせた“感じている”の割合が79.7%、「あまり感じていない」と「感じていない」をあわせた“感じていない”の割合が18.5%となっています。

平成23年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



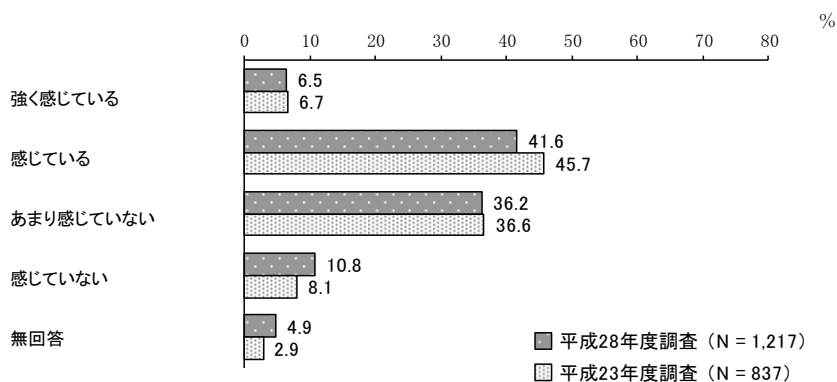
単位：%

区分	有効回答数 (件)	強く感じている	感じている	あまり感じていない	感じていない	無回答
民生委員児童委員	255	10.2	74.9	13.3	1.2	0.4
福祉委員	715	7.8	65.5	20.4	3.9	2.4
ボランティア活動者	247	25.9	66.8	4.5	1.2	1.6

② 負担感【〇は1つだけ】

「感じている」の割合が41.6%と最も高く、次いで「あまり感じていない」の割合が36.2%、「感じていない」の割合が10.8%となっています。

平成23年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



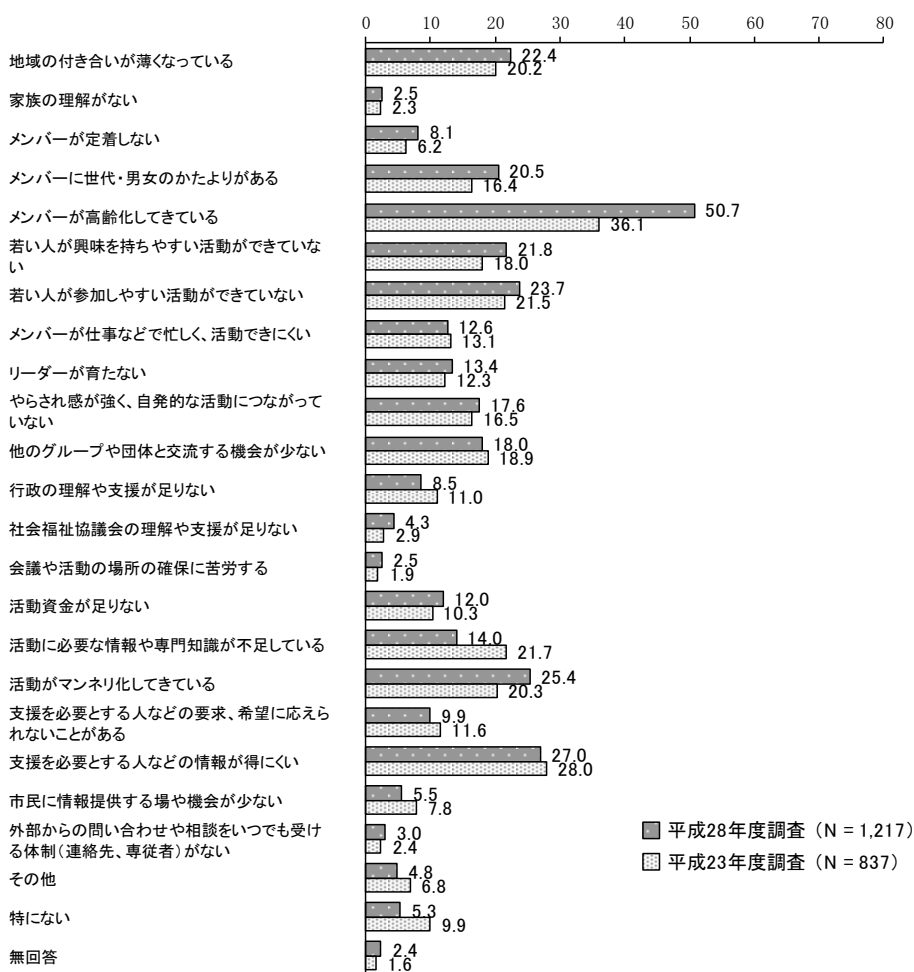
単位：%

区分	有効回答数(件)	強く感じている	感じている	あまり感じていない	感じていない	無回答
民生委員児童委員	255	12.5	63.5	20.4	1.6	2.0
福祉委員	715	4.9	37.6	39.7	12.3	5.5
ボランティア活動者	247	4.9	30.4	42.1	16.2	6.5

問9 現在、活動をしている中で困っていることは何ですか。【〇は5つまで】

「メンバーが高齢化してきている」の割合が50.7%と最も高く、次いで「支援を必要とする人などの情報が得にくい」の割合が27.0%、「活動がマンネリ化してきている」の割合が25.4%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「メンバーが高齢化してきている」「活動がマンネリ化してきている」の割合が増加しています。一方、「活動に必要な情報や専門知識が不足している」の割合が減少しています。



単位：％

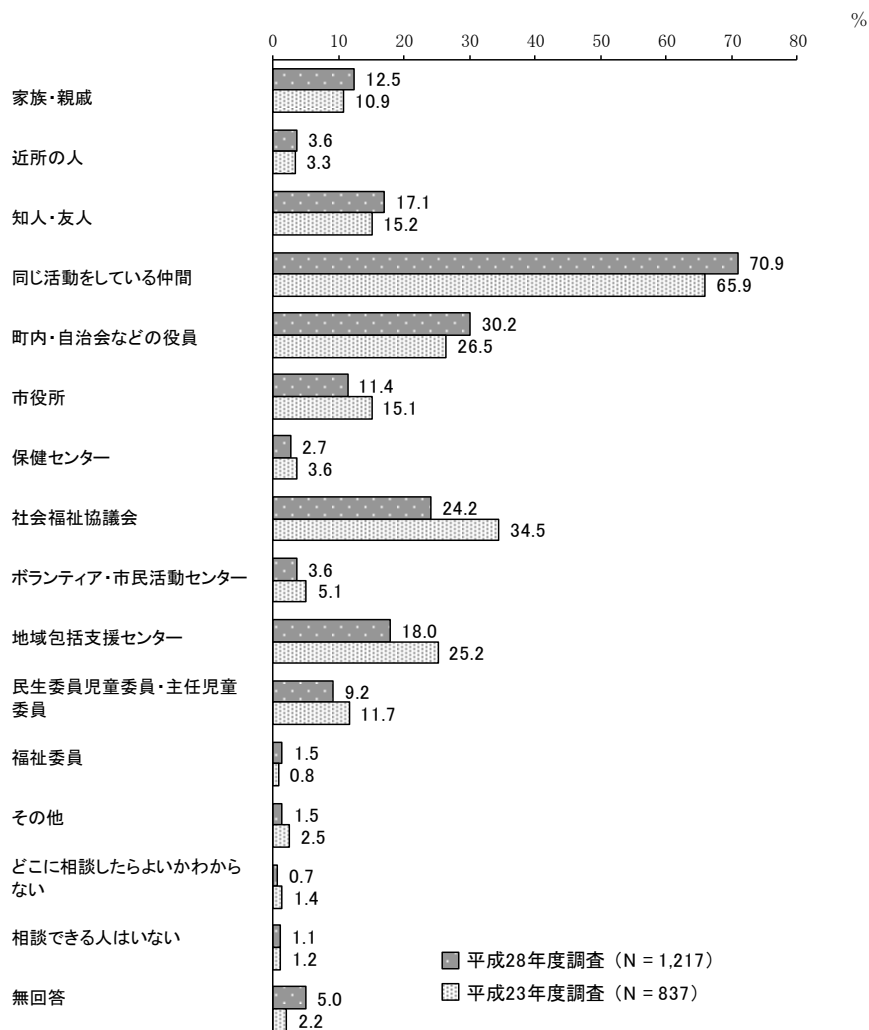
区分	有効回答数(件)	地域の付き合いが薄くなっている	家族の理解がない	メンバーが定着しない	メンバーに世代・男女のかたよりのある	メンバーが高齢化してきている	若い人が興味を持ちやすい活動ができていない	若い人が参加しやすい活動ができていない	メンバーが仕事などで忙しく、活動できにくい	リーダーが育たない	やらされ感が強く、自発的な活動につなげられない	他のグループや団体と交流する機会が少ない	行政の理解や支援が足りない
民生委員児童委員	255	33.3	3.5	5.5	7.5	29.4	21.6	19.6	11.4	5.1	31.4	21.6	12.2
福祉委員	715	23.2	2.4	9.7	25.3	54.0	23.8	27.0	12.6	14.8	17.3	16.9	6.4
ボランティア活動者	247	8.9	1.6	6.1	19.8	63.2	16.2	18.6	13.8	17.8	4.0	17.4	10.5

区分	社会福祉協議会の理解や支援が足りない	会議や活動の場所の確保に苦勞する	活動資金が足りない	活動に必要な情報や専門知識が不足している	活動がマンネリ化してきている	支援を必要とする人などの要求、希望に応えられないことがある	支援を必要とする人などの情報が得にくい	市民に情報提供する場や機会が少ない	外部からの問い合わせや相談をいつでも受ける体制(連絡先、専従者)がない	その他	特にない	無回答
民生委員児童委員	4.3	2.0	1.6	25.9	22.0	21.6	55.3	7.8	6.3	5.5	3.5	1.2
福祉委員	4.2	1.5	14.0	12.2	27.0	5.0	22.7	4.3	2.4	4.8	6.2	3.2
ボランティア活動者	4.5	5.7	17.0	6.9	24.3	12.1	10.1	6.5	1.6	4.0	4.9	1.2

問10 活動をする中で困ったときの相談相手について教えてください。
【〇は3つまで】

「同じ活動をしている仲間」の割合が70.9%と最も高く、次いで「町内・自治会などの役員」の割合が30.2%、「社会福祉協議会」の割合が24.2%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「社会福祉協議会」「地域包括支援センター」の割合が減少しています。



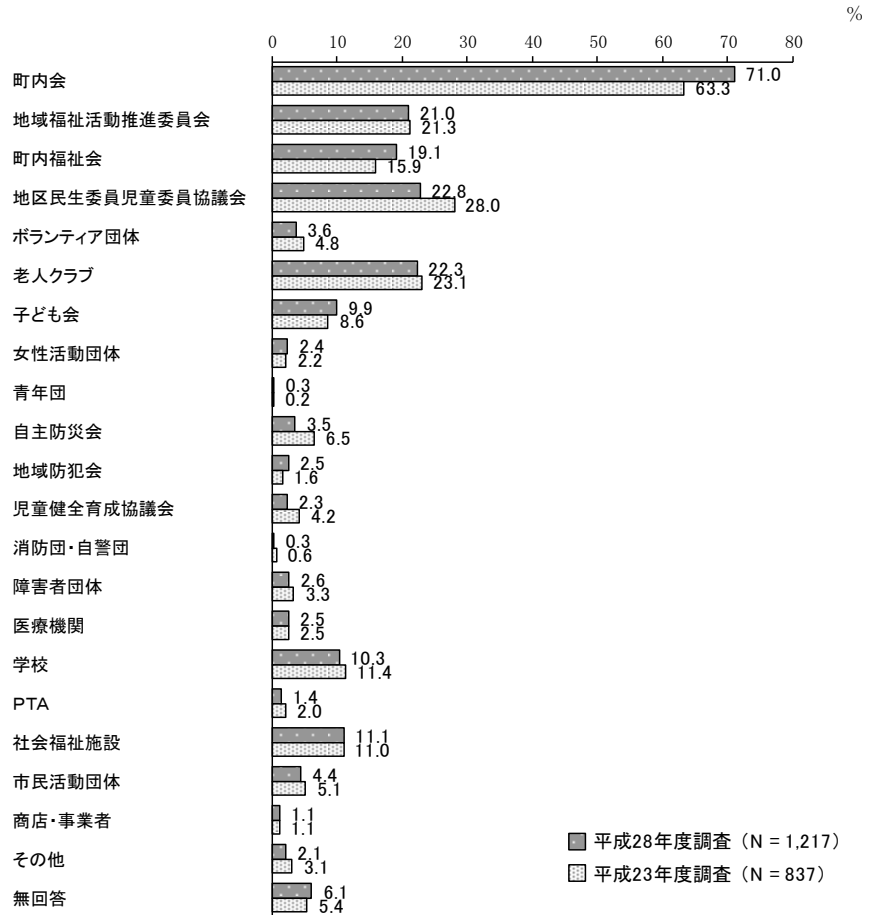
単位：%

区分	有効回答数(件)	家族・親戚	近所の人	知人・友人	同じ活動をしている仲間	町内・自治会などの役員	市役所	保健センター	社会福祉協議会	ボランティア・市民活動センター	地域包括支援センター	民生委員児童委員・主任児童委員	福祉委員	その他	どこに相談したらよいかわからない	相談できる人はいない	無回答
民生委員児童委員	255	8.6	2.0	5.1	69.0	19.6	34.1	5.1	48.2	0.8	53.3	—	3.9	0.8	0.4	—	1.2
福祉委員	715	14.4	4.5	17.6	69.5	37.6	3.2	1.8	20.0	2.2	9.8	14.1	—	0.3	0.8	1.5	6.7
ボランティア活動者	247	10.9	2.8	27.9	76.9	19.4	11.7	2.8	11.7	10.5	5.3	4.5	3.2	5.7	0.4	0.8	4.0

問 1 1 活動にあたり連携が必要と思われる他の組織団体は何ですか。【〇は3つまで】

「町内会」の割合が71.0%と最も高く、次いで「地区民生委員児童委員協議会」の割合が22.8%、「老人クラブ」の割合が22.3%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「町内会」の割合が増加しています。一方、「地区民生委員児童委員協議会」の割合が減少しています。



単位：%

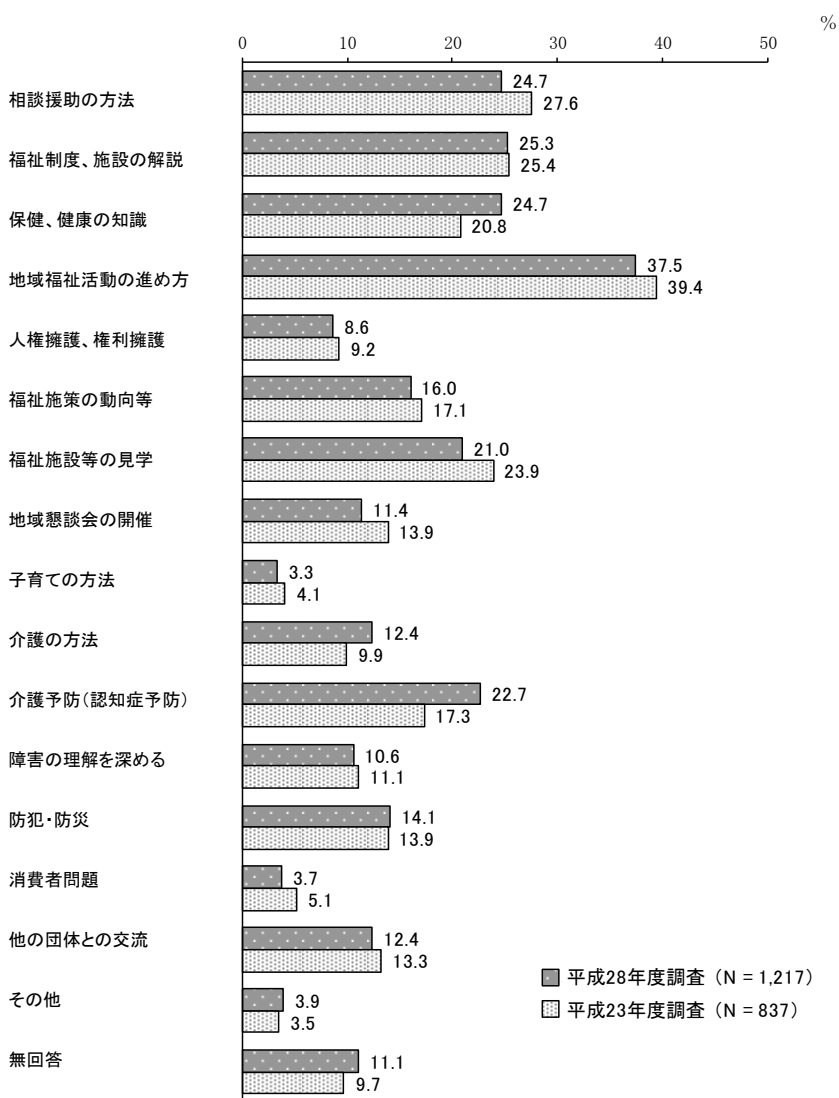
区分	有効回答数(件)	町内会	地域福祉活動推進委員会	町内福祉会	地区民生委員児童委員協議会	ボランティア団体	老人クラブ	子ども会	女性活動団体	青年団	自主防災会	地域防犯会
民生委員児童委員	255	78.0	20.8	23.1	42.4	1.2	16.5	8.2	—	0.4	8.6	2.0
福祉委員	715	77.3	22.8	22.1	20.7	3.6	27.7	11.2	3.1	0.4	2.4	2.8
ボランティア活動者	247	45.3	16.2	6.5	8.9	6.1	12.6	7.7	2.8	—	1.6	2.4

区分	児童健全育成協議会	消防団・自警団	障害者団体	医療機関	学校	PTA	社会福祉施設	市民活動団体	商店・事業者	その他	無回答
民生委員児童委員	4.7	—	1.2	3.5	23.1	1.2	14.9	1.6	—	1.6	1.2
福祉委員	1.3	0.6	1.4	2.1	3.4	0.7	8.1	3.1	0.4	1.1	6.3
ボランティア活動者	2.8	—	7.7	2.4	17.0	3.6	15.8	10.9	4.0	5.3	10.5

問12 活動をすすめていく上で、受けてみたい研修は何ですか。
【あてはまるものすべてに○】

「地域福祉活動の進め方」の割合が37.5%と最も高く、次いで「福祉制度、施設の解説」の割合が25.3%、「相談援助の方法」、「保健、健康の知識」の割合が24.7%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「介護予防（認知症予防）」の割合が増加しています。



単位：%

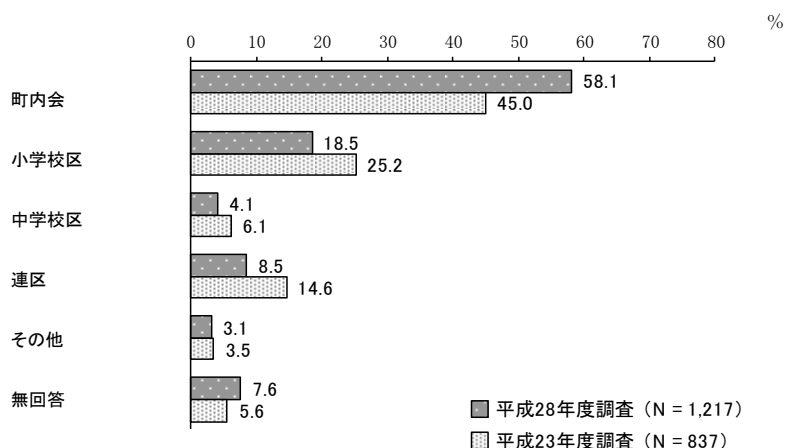
区分	有効回答数(件)	相談援助の方法	福祉制度、施設の解説	保健、健康の知識	地域福祉活動の進め方	人権擁護、権利擁護	福祉施策の動向等	福祉施設等の見学	地域懇談会の開催
民生委員児童委員	255	49.4	43.5	19.2	36.5	16.9	23.1	29.4	14.9
福祉委員	715	20.0	24.2	26.4	43.1	6.3	14.7	18.6	10.9
ボランティア活動者	247	13.0	9.7	25.1	22.3	6.9	12.6	19.0	9.3

区分	子育ての方法	介護の方法	介護予防(認知症予防)	障害の理解を深める	防犯・防災	消費者問題	他の団体との交流	その他	無回答
民生委員児童委員	6.3	13.7	24.7	22.4	13.7	4.7	14.1	4.3	3.5
福祉委員	1.5	11.9	24.6	6.4	13.6	3.9	10.6	2.1	11.5
ボランティア活動者	5.3	12.6	15.0	10.5	16.2	2.0	15.8	8.5	17.8

問13 活動を取り組みやすい区域について、どのようにお考えですか。
【〇は1つだけ】

「町内会」の割合が58.1%と最も高く、次いで「小学校区」の割合が18.5%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「町内会」の割合が増加しています。一方、「小学校区」「連区」の割合が減少しています。



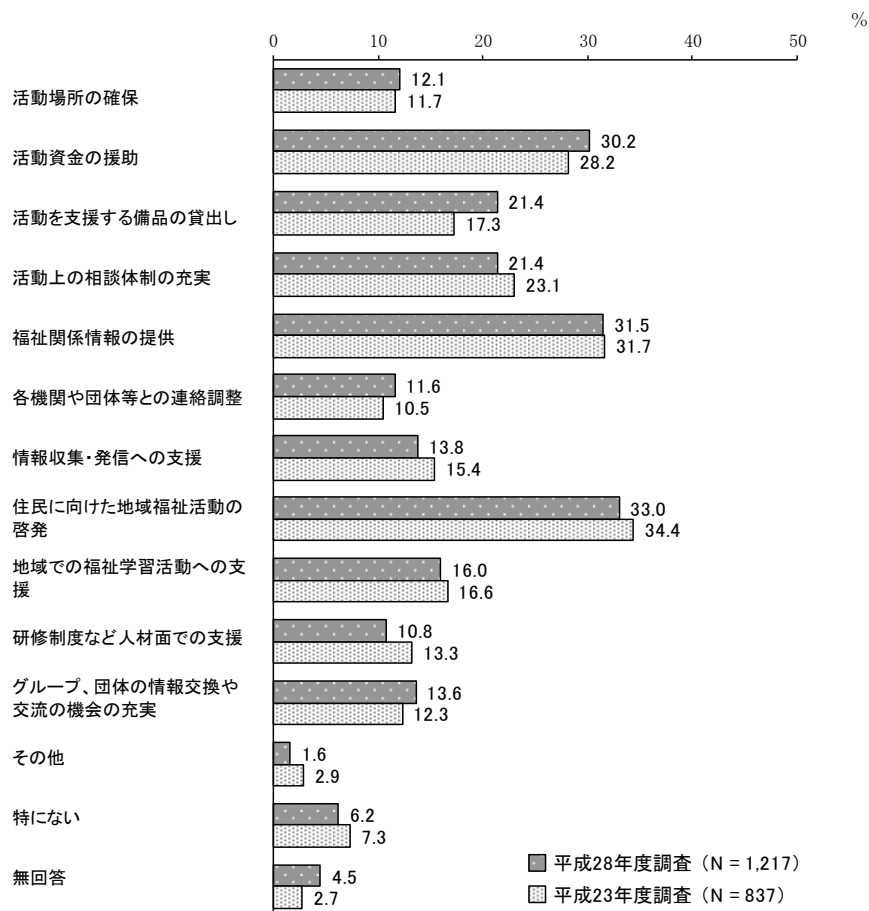
単位：%

区分	有効回答数(件)	町内会	小学校区	中学校区	連区	その他	無回答
民生委員児童委員	255	56.1	27.8	5.9	7.1	0.8	2.4
福祉委員	715	67.4	13.4	1.4	10.1	0.7	7.0
ボランティア活動者	247	33.2	23.5	10.1	5.7	12.6	15.0

問14 様々な地域福祉活動を推進していく上で、豊川市社会福祉協議会に期待することは何ですか。【〇は3つまで】

「住民に向けた地域福祉活動の啓発」の割合が33.0%と最も高く、次いで「福祉関係情報の提供」の割合が31.5%、「活動資金の援助」の割合が30.2%となっています。

平成23年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



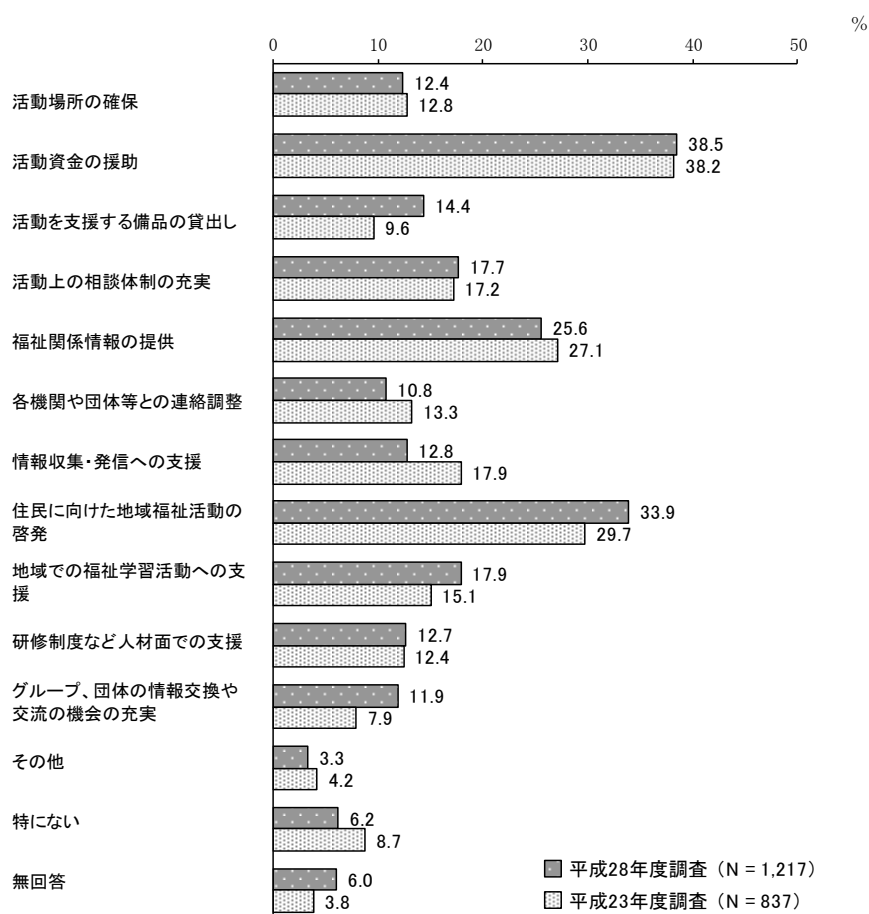
単位：%

区分	有効回答数(件)	活動場所の確保	活動資金の援助	活動を支援する備品の貸出し	活動上の相談体制の充実	福祉関係情報の提供	各機関や団体等との連絡調整	情報収集・発信への支援	住民に向けた地域福祉活動の啓発	地域での福祉学習活動への支援	研修制度など人材面での支援	グループ、団体の情報交換や交流の機会の充実	その他	特にない	無回答
民生委員児童委員	255	12.5	18.0	15.3	40.0	41.6	20.0	18.0	29.4	15.3	13.3	16.1	1.6	5.1	0.4
福祉委員	715	9.0	34.0	24.5	16.4	32.9	9.8	11.3	35.7	18.2	10.1	11.6	1.7	5.6	5.7
ボランティア活動者	247	20.6	31.6	18.6	16.6	17.0	8.1	16.6	29.1	10.5	10.5	16.6	1.6	8.9	5.3

問15 様々な地域福祉活動を推進していく上で、豊川市に期待することは何ですか。
【〇は3つまで】

「活動資金の援助」の割合が38.5%と最も高く、次いで「住民に向けた地域福祉活動の啓発」の割合が33.9%、「福祉関係情報の提供」の割合が25.6%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「情報収集・発信への支援」の割合が減少しています。



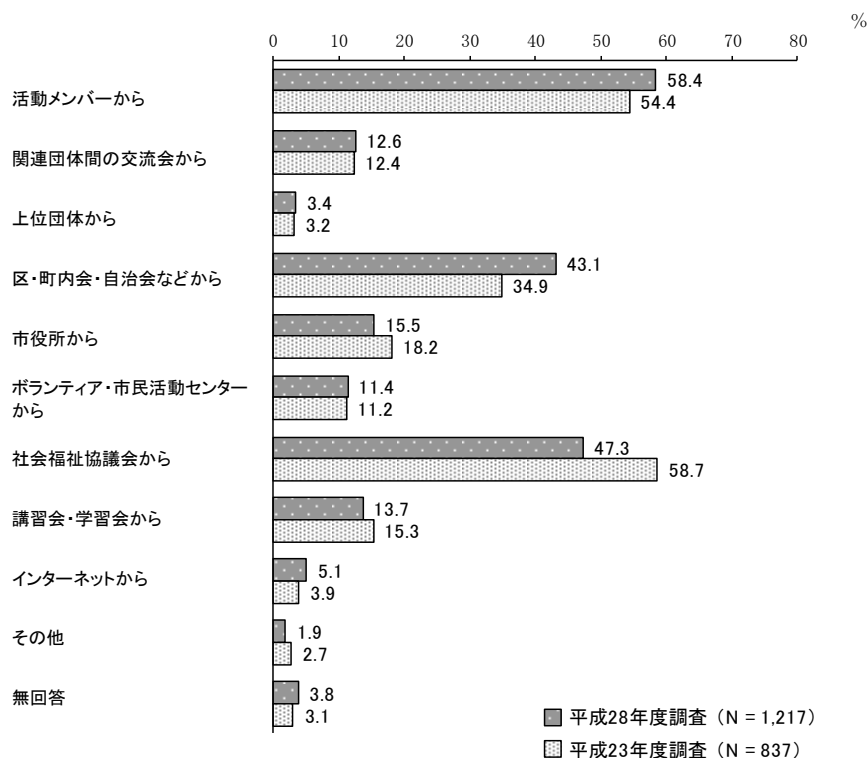
単位：%

区分	有効回答数(件)	活動場所の確保	活動資金の援助	活動を支援する備品の貸出し	活動上の相談体制の充実	福祉関係情報の提供	各機関や団体等との連絡調整	情報収集・発信への支援	住民に向けた地域福祉活動の啓発	地域での福祉学習活動への支援	研修制度など人材面での支援	グループ、団体の情報交換や交流の機会の充実	その他	特にない	無回答
民生委員児童委員	255	11.4	25.5	12.5	34.5	33.7	16.9	21.2	32.5	16.1	14.5	16.5	3.1	3.9	1.2
福祉委員	715	10.5	43.2	15.4	12.4	25.3	8.7	9.9	36.2	21.0	12.3	9.9	3.1	5.6	7.3
ボランティア活動者	247	19.0	38.1	13.4	15.8	17.8	10.5	12.6	28.3	10.9	12.1	13.0	4.0	10.5	7.3

問16 地域にある様々な福祉活動に必要な情報を、どこから得ていますか。
【〇は3つまで】

「活動メンバーから」の割合が58.4%と最も高く、次いで「社会福祉協議会から」の割合が47.3%、「区・町内会・自治会などから」の割合が43.1%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「区・町内会・自治会などから」の割合が増加しています。一方、「社会福祉協議会から」の割合が減少しています。



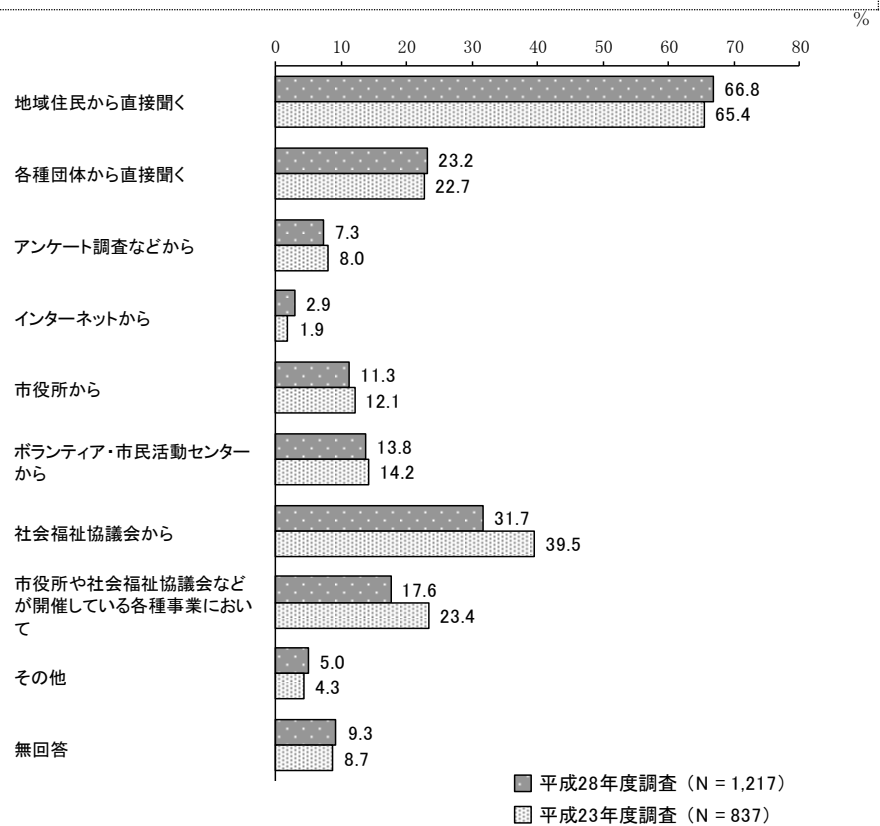
単位：%

区分	有効回答数(件)	活動メンバーから	関連団体間の交流会から	上位団体から	区・町内会・自治会などから	市役所から	ボランティア・市民活動センターから	社会福祉協議会から	講習会・学習会から	インターネットから	その他	無回答
民生委員児童委員	255	54.5	12.2	3.5	43.1	38.4	5.5	67.8	15.3	4.7	2.0	1.6
福祉委員	715	60.3	12.6	3.1	47.7	6.7	9.0	44.5	14.7	3.9	1.1	4.1
ボランティア活動者	247	57.1	13.0	4.0	29.6	17.4	24.7	34.4	9.3	8.9	4.0	5.3

問17 様々な地域福祉活動を行う上で、地域住民の要望をどのように把握していますか。【あてはまるものすべてに○】

「地域住民から直接聞く」の割合が66.8%と最も高く、次いで「社会福祉協議会から」の割合が31.7%、「各種団体から直接聞く」の割合が23.2%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「社会福祉協議会から」「市役所や社会福祉協議会などが開催している各種事業において」の割合が減少しています。



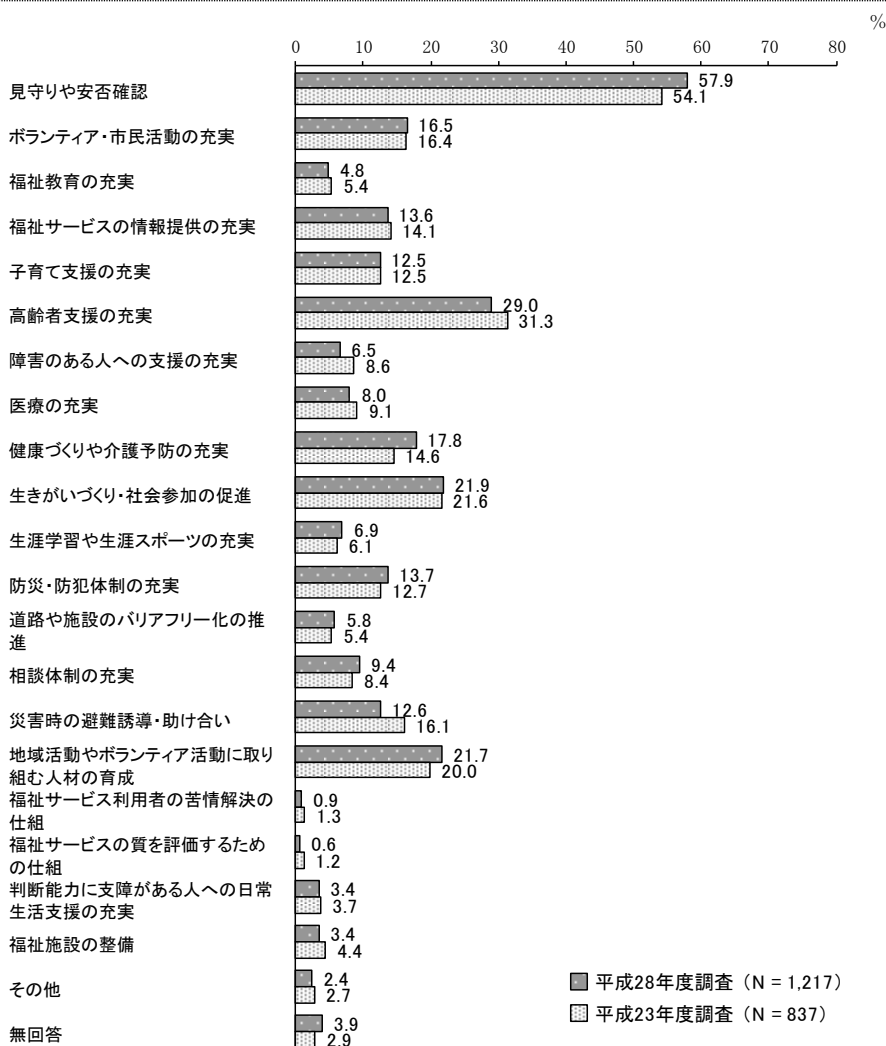
単位：%

区分	有効回答数(件)	地域住民から直接聞く	各種団体から直接聞く	アンケート調査などから	インターネットから	市役所から	ボランティア・市民活動センターから	社会福祉協議会から	市役所や社会福祉協議会などが開催している各種事業において	その他	無回答
民生委員児童委員	255	78.8	30.6	5.5	2.4	29.8	11.0	44.3	29.8	2.0	3.9
福祉委員	715	68.4	21.0	7.7	2.2	5.3	11.9	30.5	13.0	4.9	9.9
ボランティア活動者	247	49.8	21.9	8.1	5.3	9.3	22.3	22.3	18.2	8.5	13.0

問18 誰もが安心して暮らしていくために、地域で特に重要なことは何だと思いますか。【〇は3つまで】

「見守りや安否確認」の割合が57.9%と最も高く、次いで「高齢者支援の充実」の割合が29.0%、「生きがいきづくり・社会参加の促進」の割合が21.9%となっています。

平成23年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



単位：%

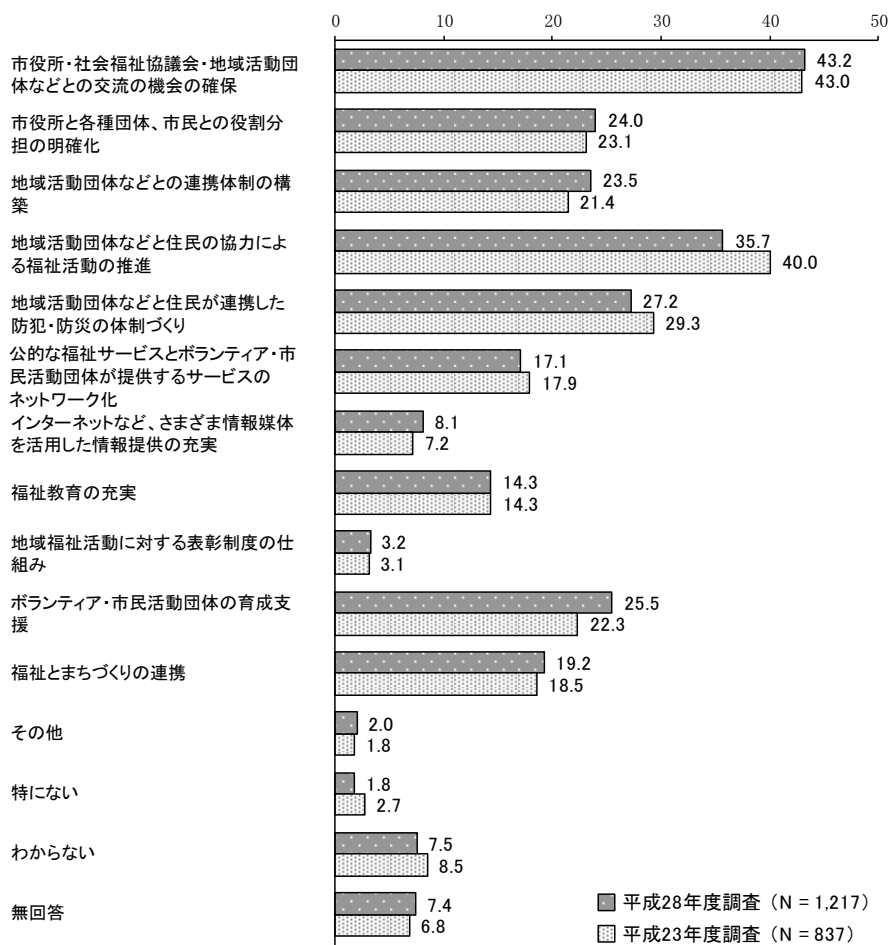
区分	有効回答数(件)	見守りや安否確認	ボランティア・市民活動の充実	福祉教育の充実	福祉サービスの情報提供の充実	子育て支援の充実	高齢者支援の充実	障害のある人への支援の充実	医療の充実	健康づくりや介護予防の充実	生きがいきづくり・社会参加の促進	生涯学習や生涯スポーツの充実
民生委員児童委員	255	67.8	15.3	3.5	15.3	15.7	22.7	6.7	10.6	15.7	22.0	4.7
福祉委員	715	58.0	16.5	4.5	13.0	10.6	32.0	5.2	6.2	19.2	22.4	7.3
ボランティア活動者	247	47.4	17.8	7.3	13.8	14.6	26.7	10.1	10.5	16.2	20.6	8.1

区分	防災・防犯体制の充実	道路や施設のバリアフリー化の推進	相談体制の充実	災害時の避難誘導・助け合い	地域活動やボランティア活動に取り組む人材の育成	福祉サービスの苦情解決の仕組み	福祉サービスの質を評価するための仕組み	判断能力に障害がある人への日常生活支援の充実	福祉施設の整備	その他	無回答
民生委員児童委員	12.5	5.1	16.9	10.6	25.9	0.8	0.4	2.4	5.1	3.5	1.6
福祉委員	13.6	5.6	7.8	12.4	21.3	1.0	0.7	3.5	3.1	2.0	4.2
ボランティア活動者	15.4	7.3	6.5	15.0	18.6	0.8	0.4	4.0	2.4	2.4	5.3

問19 地域福祉活動を社会福祉協議会・関係団体・市民と協働で進めるにあたって、どのようなことが特に必要だと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

「市役所・社会福祉協議会・地域活動団体などとの交流の機会の確保」の割合が43.2%と最も高く、次いで「地域活動団体などと住民の協力による福祉活動の推進」の割合が35.7%、「地域活動団体などと住民が連携した防犯・防災の体制づくり」の割合が27.2%となっています。

平成23年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



単位：%

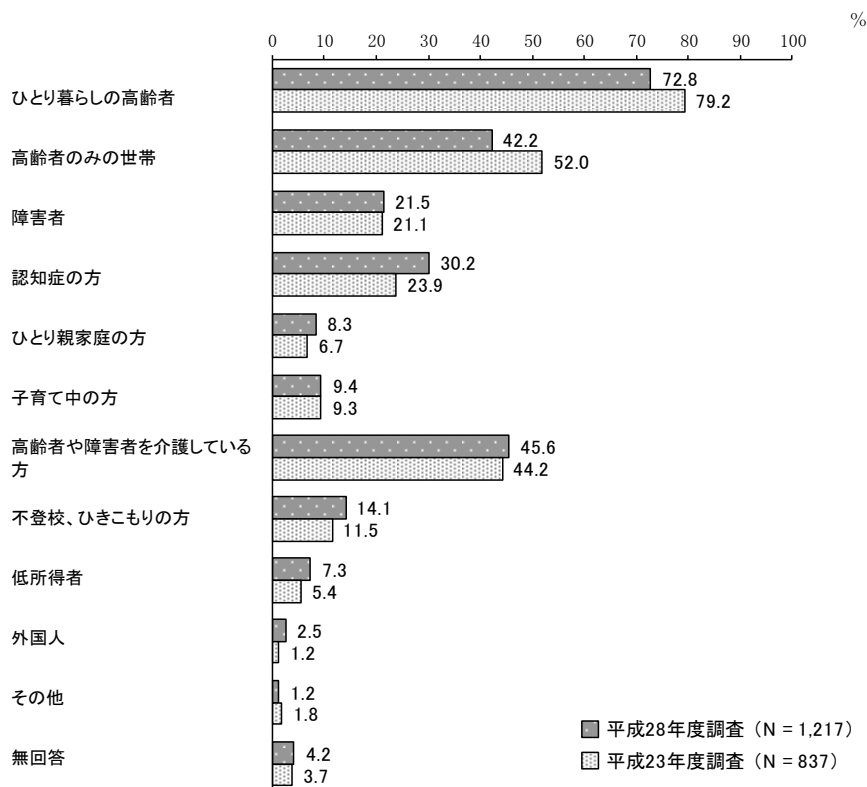
区分	有効回答数(件)	市役所・社会福祉協議会・地域活動団体などとの交流の機会の確保	市役所と各種団体、市民との役割分担の明確化	地域活動団体などとの連携体制の構築	地域活動団体などによる福祉活動の推進	地域活動団体などと住民が連携した防犯・防災の体制づくり	公的な福祉サービスとボランティア・市民活動団体が提供するサービスのネットワーク化	インターネットなど、さまざまな情報媒体を活用した情報提供の充実
民生委員児童委員	255	57.3	28.2	29.8	41.2	29.8	23.9	11.8
福祉委員	715	40.3	22.7	23.5	37.2	26.7	13.7	5.9
ボランティア活動者	247	37.2	23.5	17.0	25.5	25.9	19.8	10.9

区分	福祉教育の充実	地域福祉活動に対する表彰制度の仕組み	ボランティア・市民活動団体の育成支援	福祉とまちづくりの連携	その他	特にない	わからない	無回答
民生委員児童委員	14.9	3.5	26.3	19.2	0.8	0.8	5.1	5.5
福祉委員	13.1	2.5	24.6	19.7	1.8	1.7	8.1	8.3
ボランティア活動者	17.0	4.9	27.1	17.8	3.6	3.2	8.1	6.9

問 20 地域の中で特に支援が必要と思われる方はどんな方々ですか。【〇は3つまで】

「ひとり暮らしの高齢者」の割合が72.8%と最も高く、次いで「高齢者や障害者を介護している方」の割合が45.6%、「高齢者のみの世帯」の割合が42.2%、「高齢者のみの世帯」の割合が42.2%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「認知症の方」の割合が増加しています。一方、「ひとり暮らしの高齢者」「高齢者のみの世帯」の割合が減少しています。



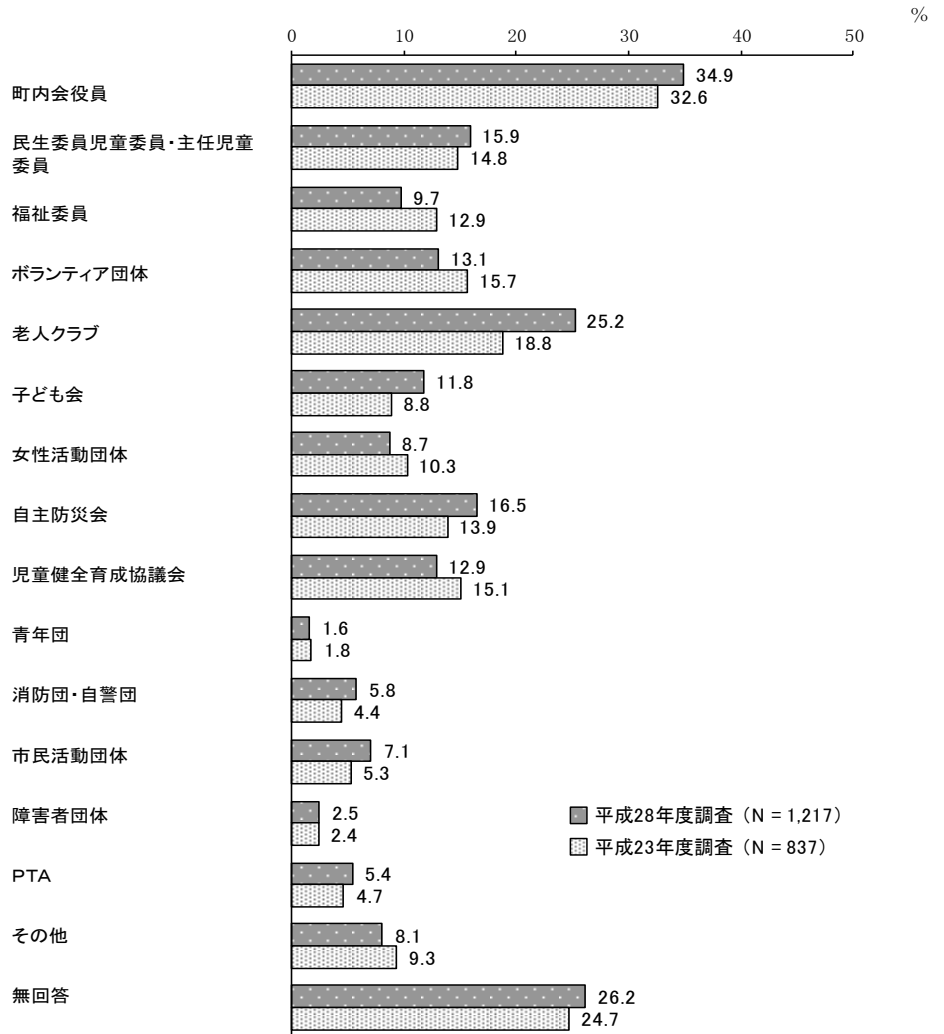
単位：%

区分	有効回答数(件)	ひとり暮らしの高齢者	高齢者のみの世帯	障害者	認知症の方	ひとり親家庭の方	子育て中の方	高齢者や障害者を介護している方	不登校、ひきこもりの方	低所得者	外国人	その他	無回答
民生委員児童委員	255	74.5	38.0	20.8	32.9	9.0	8.6	46.7	21.6	9.0	5.1	1.2	2.7
福祉委員	715	73.4	46.9	21.1	29.5	7.8	8.8	44.9	10.3	6.4	1.7	0.7	4.6
ボランティア活動者	247	69.2	32.8	23.5	29.6	8.9	11.7	46.6	17.4	8.1	2.4	2.8	4.5

問 2 1 ボランティア活動者以外の地域での役割があれば教えてください。

「町内会役員」の割合が34.9%と最も高く、次いで「老人クラブ」の割合が25.2%、「自主防災会」の割合が16.5%となっています。

平成 23 年度調査と比較すると、「老人クラブ」の割合が増加しています。



単位：%

区分	有効回答数(件)	町内会役員	民生委員児童委員・主任児童委員	福祉委員	ボランティア団体	老人クラブ	子ども会	女性活動団体	自主防災会	児童健全育成協議会	青年団	消防団・自警団	市民活動団体	障害者団体	PTA	その他	無回答
民生委員児童委員	255	36.9	—	38.4	15.7	27.1	12.2	13.7	24.7	32.9	1.6	6.7	11.0	2.7	7.1	11.4	15.3
福祉委員	715	37.9	22.8	0.3	12.4	27.3	13.1	6.4	15.2	7.1	1.5	5.9	4.1	1.5	4.5	7.4	27.6
ボランティア活動者	247	24.3	12.1	7.3	12.6	17.4	7.3	10.1	11.7	8.9	2.0	4.5	11.7	5.3	6.5	6.5	33.6

Ⅲ 自由意見

Ⅲ 自由意見

(1) アンケート

- ◆アンケートについて疑問に思います。研修後アンケート等、年間何度もアンケートを提出しています。そしてそのアンケートをまとめた資料(数枚も)も見ています。アンケート用紙の準備、後のまとめ等の作業及び費用が多いと思います。どれだけの効果があるのでしょうか?それよりも、地区の民児協で話し合ってもらい、会長会議で伝えてもらった方が良いのではないのでしょうか?(民生委員児童委員)
- ◆社協のアンケートなら質問した事に対する回答なり、又、方向性をきちんと示していくべきではないか、予算と人材と人数が必要だか、示していく社協のリーダーが必要ではないか。(福祉委員・男性・60代)
- ◆市、社会福祉協議会が大変遠くに感じており何か困った事が起きてもどのように要望していけば良いかわからない。市、社会福祉協議会がこのような書類だけのアンケートをとるのではなく、地域に顔を出し情報交換ができると良い。市等が身近に感じるようにしたらいろいろと要望もできる。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆12月1日民生委員になったばかりで、平成28年12月1日現在で回答して下さい、というのには無理があります。(わからない)よって回答をしてありません。11月末現在で旧民生委員の方にアンケートを採るべきです。(福祉委員・男性・60代)
- ◆代田地区内の団地に入居して2年6ヶ月に成ります。町内会の月一回の草取りから団地の方々と友好を深めて行くうち、何か楽しい会がないの?という言葉から町内会用の集会場がある事から、老人会を立ち上げ、区長と動くようになり、共益係をやり、集会場の管理責任者に成り、現在町内会の会計を行い活動しています。町内会の役員に副区長も居るのですが、実際生活の中で役をこなしきれない方もあり、区長も民生委員もやっています、こまっている方からも何もしていない方からもいろいろの言葉を耳にして、もともと看護師一筋に生きてきた私は、引くに引けなくなり、ナースを退職し、区長の民生委員を引き受ける決意をしました。他地区の福祉会の事も勉強させて頂き、民生委員の会合にも区長に引っ張られて参加しているうち、団地の中にも福祉委員を作り、団地の皆さんが安心して生活できる所にしたい…と思うようになり、団地内の改革にも取り組んで行きたいと思っています。このアンケートにまだ充分意見はいえませんがしっかり勉強させて頂き、思いやり第一に活動させて頂くつもりです。(福祉委員・女性・70代以上)
- ◆社協の方々と市民活動団体の私たちを直接、顔を合わせてお互いを直接語り合った事はありません。文化振興と子育てと人々の高齢化は、全ての方の健全育成と関わっていると考えます。心が優しく動く事を乳幼児と家族の頃から育てていくべきと考えています。反対に社協の方々の豊川市民への考えや希望理想は何かと聞きたく

なるアンケートでした。地域福祉に豊川市の資金が多く入り活動活発「豊川市に住みたい」となるといいですね。オープンカレッジに参加している人々に、市福祉の何か、必要ある手をPR、チラシ配りとかして周囲への何らかの気持ちを伝えるとかいいのでは。(ボランティア活動者・女性・50代)

◆このアンケートを活用して、ボランティア活動に携わっている人たちを大いにバックアップしてください。(ボランティア活動者・男性・50代)

◆通り一遍のアンケートは大きなアンケートにつながるとは思えません。(ボランティア活動者・男性・60代)

◆私たちの活動が環境リサイクルを中心に活動しているため、地域福祉のアンケートに適切に答える事が出来ません。あしからずご了承ください。(ボランティア活動者・女性・50代)

◆これまでアンケートのたびにボランティアだよりに「どすこいネット」の案内を毎回載せてほしいと要望しましたが一向に取り上げてもらえません。なぜできないのか回答をお願いします。ボランティア関係の集会に参加していますが、他の参加者がどういう活動をされているのか、連絡先など何もわかりません。協力関係をつくりたいのですが、個人情報への気遣いから教えてもらえません。過剰反応だと思います。同じ志を持った人達ですから。ボランティア関係の方たちとの円卓会議を開いてほしい。活動紹介をするので協力できることもあると思います。(ボランティア活動者・男性・60代)

◆アンケートに費用をかけるよりも、直接意見のある人が言えるシステムを考えた方がよいかと思います。(ボランティア活動者・女性・50代)

(2) 福祉観

◆地域福祉活動は人々のためだけでなく、自分自身の活性を得る事と考えて実行する。地域の連携と互いの絆が大切。(福祉委員・男性・60代)

◆福祉は奥が深い、大変である。(福祉委員・男性・60代)

◆良いアイデアを行ってもないように思います。毎日の生活の中で、住民一人一人が福祉の輪の中に入って地道に行動していくことだと思います。私も協力、応援しますので、頑張ってください。(福祉委員・男性・70代以上)

◆耳触りのよい福祉という言葉に日本人は弱いですね。本質の中身を考えてもらいたい。(福祉委員・女性・60代)

- ◆支援も良いと思いますが、自分が小さな幸せに感謝に気づくことが大事だと思います。それから一步前に進むと前が見えてくるように思います。(福祉委員・男性・60代)
- ◆町内の高齢者にやさしいまちづくり。少なくとも、福祉委員は町内の高齢者のみの世帯を熟知し、顔を覚え、話ができるようにする。町内の行事などに参加しやすいように進めていく。(具体例) 町内敬老会の参加者について。対象者がかなり増加しているのに参加者数は数年変わっていない。参加しない理由を把握して、参加しやすいように原因を取り除く活動が必要と思われる。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆地域とあまり繋がりがなく、地域福祉のことが良く分かりません。(福祉委員・男性・60代)
- ◆福祉と言えばお年寄り(敢えて老人)や子供(小学生以下)を対象にして考える癖が出来てしまった。人生設計を描きつつも、誰でも幸せになれるわけではありません。落ちることもあります。失敗もあります。それら全てを寛大な心で、見守る事が必要になります。それはすぐ立ち直りや成果につながらなくても、温かい目で見守ってくれる人があるという事は何と嬉しい事ではないでしょうか? 幸せに導いて行ける力、それが福祉といい、福祉活動につながれば弱い立場を乗り越えて明日へ一歩踏み出すことになる。(福祉委員・男性・60代)
- ◆地域での様子がまだよくつかめない事が多くありますので、これから勉強していきます。(福祉委員・女性・70代以上)
- ◆この日本では、義務教育での給食費も収めない者がいるといい、日本の貧困率は16%だという。ろくでもない働かない日本人が増えているのでいつまでたってもデフレの状態から脱却できない。地域福祉といえば生活保護だ。昔はもらうこと自体がもうはずかしいことで、武士は「食わねどたかようじ」といったことであつたはずだ。こうした倫理観が崩壊している今、ボランティアなどはない方が良くと思うことが時々ある。ボランティアの供給者はさも「きとくなひと」と思っている者も多い。義務教育はもっと人間関係が必要だと思う。先生がダメだからというのものもあるかもしれないが、この日本人がダメだからだろう。児童手当を半額にして給食費ぐらいタダにしたら良いのではないか。体を使って働く喜びを教えて欲しい。教育委員会は何をやっているのか。そんな感じなのだろう。残念なことだ。「日本人は働け」のすすめを教育に入れるべきだ。(ボランティア活動者・男性・50代)
- ◆若い時は興味も関心もありませんでした。子育て仕事でいっぱいです。協力できる年齢があります。(ボランティア活動者・女性・60代)

(3) 近所づきあい

- ◆地域全体の住民の助け合い、見守りの必要性を認識して頂くための仕掛けが欲しい。
(民生委員児童委員)
- ◆1. 生活を昭和に戻せば近所の大人たちが地域の子供たちを見守れるかと思います。
2. 老人、子供に声掛け (民生委員児童委員)
- ◆昔から向こう三軒両隣と言うように地域の人が気づかいなどして声をかけ、見守りをしてほしいものですね。家の中にこもっていても、顔を合わせる事もないので、それぞれの地域で催し物などをやって外にでる機会をつくると良いのではと思います。
(福祉委員・女性・60代)
- ◆近所づきあいの気持ちや、共助の気持ちの希薄な世情から、福祉委員としてのボランティア精神をどのように育てていくか。高齢者人口の増加を控え、今後の体制づくりの構築を急がねばならないのではないのでしょうか。
(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆向こう三軒両隣、声を掛け合える環境が出来ることが一番心掛けていきます。
(福祉委員・女性・60代)
- ◆最近近所の付き合いが希薄になっていると思います。お互いに困った時には助け合い、自助→互助→公助の順になれば良いと思います。
(ボランティア活動者・女性・70代以上)
- ◆いつも声を掛け合うこと、コミュニケーションが大切だと思います。
(ボランティア活動者・男性・60代)
- ◆地域の住民にとっては「住みよいまち」「住みよい地域」ということで「見守り活動の充実」「あいさつや声掛けなど話をする機会」がある地域でありたい。価値観の多様化により「自分本位」の住民が多いこの頃である。地域のつながりを充実した笑顔のある触れ合える地域づくりに努めていきたいものです。住民一人一人が意識改革していけるようにしたいものです。
(ボランティア活動者・男性・70代以上)

(4) 地域交流

- ◆地域住民の交流を行うと良い。高齢者は家の中に居て一日も外へ出ない人がいる。冬になると余計多くなる。何もする事がないという人も多い。あるがやりたくない、やらないという事。町内会に加入しない、役がくるから嫌だと言われる。会費も高いからと。
(民生委員児童委員)

- ◆校区別での区割りではなく、町内別の区割りとして細分化を目指し、気軽な気持ちで福祉サービスが受けられるコミュニティ作りの検討を願う。(民生委員児童委員)
- ◆お茶を飲みに出かけても食事に行っても本当に高齢者が多く、4人に1人は納得します。このような社会になると本当に地域福祉は他人事ではなくなりますね。高齢者の独り暮らしは本当に多く、この人たちが住み慣れた地域で生き生きと暮らすために必要なもの、外に出る事、好きな事を見つける事、仲間を見つける事、生きがいを見つける事で、一人きりの淋しい生活にならないようにしたい。空き家を利用して気軽に集まれる部屋を用意する。そこに気軽に出入りして話をしたり、お茶を飲んだり、又色々な趣味が出来る場所として、そんな部屋場所がいくつもあつたらいいなーと思います。(民生委員児童委員)
- ◆誰でも立ち寄れる場所があるとよいと思います。(福祉委員・女性・60代)
- ◆退職をして家で時間的に余裕のある人になるべく奉仕的な活動に参加してもらえよういろいろな方面からの呼びかけが必要。参加することによって周りの人たちへの役立ちとその達成への満足感及び本人自身の健康維持がかなえられるから(身体的、精神的)。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆ぬくといカフェなどに行ってみたいと思いながらも、初めて行くのに勇気がいりません。老人クラブも来られる方は同じ人で、もう一步参加まで声掛けのおせっかいをたまにはしてみても悪くないと思いました。(福祉委員・女性・60代)
- ◆町内相互間の交流確保、どんなイベントでもよいから数多く各町内が参加できる様にする。(福祉委員・男性・60代)
- ◆関係団体(市役所、福祉協議会等)と小学校校区民(校区役員など)とのミーティング(フリーな話し合い)の場が有ったら良い。(ボランティア活動者・男性・70代以上)
- ◆地域の人達と毎年(保育園)サツマイモづくりを行っている。とても楽しく子供たちは泥だらけになりながら楽しく芋ほりだ楽しいといいながら掘っているのをみると楽しいイベントづくりをしたくなる。(ボランティア活動者・男性・60代)

(5) 地域活動

- ◆私の住んでいる地域では、会食会、サロン、老人会などに参加される方とされない方の差が大きいように思います。参加される一部の方より、参加せずに家にこもっている方々が気になります。私自身はそういう方にお会いすると積極的に話しかけ

るようにしていますが…。帰り際には「話をしてくれてありがとうね」と喜ばれます。11月末で民生・児童委員を退く事になりますが、今後も変わらず声掛けをしようと思っています。地域の方（元気な方々）が一人でも多く声掛けをされると良いと思います。（民生委員児童委員）

- ◆フェスティバルのような催し物を拡大して、市民がもう少し福祉の事に感じ取られるものをしてほしい。私も3年で退任する身ですが、仕事との間に振り回されなかなかお役に立てるかってことを残念におもいます。3年前の自分と今の自分の認識の違いに一般の人が無関心で関与することも無い事に気が付きました。花火も大いに結構ですが、明るくたのしい生活へ市民の一人一人のつながりを得るような催し物を考えてはと思います。追伸、市の職員の方々のお役と云えその前向きな働きをされているのは常に感銘していました。これからもそれに沿うよう私も町の為にしたいと思います。（民生委員児童委員）
- ◆サロンが各町内に有ったら良いと思う。いつでも利用できるの良いな。世代を超えて交流できるとステキ。夢かな。（民生委員児童委員）
- ◆町内会に誰もが入れるようにする。入る様に強制してもよいのではないか。費用の面で困る人がいれば、援助も必要かもしれない。賃貸マンションに住む人たちの顔が見えないのは困ったものだと思う。なんとか町内に組み入れたい。高齢者世帯の方たちはどちらかが、介護保険のお世話になるまで表に出てこないので把握が難しい。ひとり暮らしだけでなく2人世帯も見守りをする必要があると思います。2人世帯にも委員が顔を出せるようなおしらせパンフレットを年に数回作ると良いのではないか。（民生委員児童委員）
- ◆世帯訪問の時に、独居の方を重点に見守りを続けています。留守であったり、拝顔できたりして、とても喜んでいただけたときは活動して良かったなど実感しています。今後も地道に支援していきたいと思っています。（福祉委員・男性・60代）
- ◆今まで、地域活動の行事やイベントに参加して来ましたが、何か満足度が感じられません。福祉委員として現状把握して、見直し自己満足で終わらないようにするにはどうしたらいいのか、何をしたらいいのか指導をお願いします。（福祉委員・男性・70代以上）
- ◆今年度の自治会の会長は、老人クラブ、子供会の活動への理解がなく、活動についてもダメだしが多くて、役員の方々が困って見えます。私としましては、老人会も子供会も存続してほしい団体であり、重要と思っています。自治会の会長独自の考えで、老人会、子供会の活動に支障があってはいけないのではとも考えます。町内会は、老人会、子供会と共に助け合う必要があるとも思っています。町内会は独自のもので、こうでなければいけないと形をつくることはできないのかもしれない

せんが、各町内会に住んで見える人々は、幼児から老人までいる。(福祉委員・女性・70代以上)

- ◆隔月にサロンを実施していますが、参加される方々の要望を聞く機会があればと思います。(福祉委員・女性・50代)
- ◆福祉活動の資金は、活発にいろいろとやれば足りなくなり、あまりやらなければあまります。ですから、活動に応じて資金をいただければありがたいと思います。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆サロンを開いていますが、地域の区長等の理解が薄いことに、一生懸命やっている者にとってがっかりです。サロンの重要性をもっとPRしてほしいと思います。サロンが趣味の会でなく、地域の方々の集いの場所であり、健康のためにも健康保険の軽減に一役かっていることなど。資金も少ないなかで、皆さんに苦心して役立っていることなど。(福祉委員・女性・70代以上)
- ◆サロン会に月一度出席してお手伝いをしています。福祉委員の中であの人がサロンに入るならサロンの役員を辞めるとか言われる方がいます。一部の人ですけど。そういう差別をなくして、誰でも参加でき、仲良く楽しくサロン会をやって行きたいと思います。行事を色々考えて、また出席したいと思われるサロン会にしたいと思います。(福祉委員・女性・60代)
- ◆新聞などで地域活動に徐々に移行していくとの事ですね。活動内容の充実、スタッフの役割、地域区サロンの活動内容等どのようにしていらっしゃるのでしょうか。私達は現行のままで良いのかと思う事があります。(福祉委員・女性・60代)
- ◆ふれあいサロンを発足して4年。とりあえず1年目の代表になりました。2年目から順番に代表を受けてくれると思っていましたが、次の代表が決まりません。(福祉委員・女性・70代以上)
- ◆地域の人にもっと福祉活動を知ってもらい、参加してもらえるようになると良いと思います。しかし町内会の数も年々減り、町内での福祉活動には限界があり、やり方を考える必要を感じます。(福祉委員・女性・50代)
- ◆先日テレビで緑側カフェが紹介されていました。とても楽しそうで、賑わっていました。私の子供の頃は隣近所のおじいさん、おばあさん、子供達や青年団の人たちがワイワイガヤガヤ寄り合っていました。いつでも行けば誰かいる、遊んでもらえる、話し合えると言った場所がありました。玄関の戸を開けるのも怖い、電話に出るのも用心、とても悲しくさびしいです。もっとオープンに寄り合える場所があったらいいなと思います。(福祉委員・男性・60代)

- ◆毎月第三木曜日の午後を開いている、お年寄りのサロンに於いてお手伝いをしているにすぎず、お役に立っていないのが実情です。知識もなくお茶やお菓子の準備をし、参加者の方々といっしょに体操をしたり、ゲームをしたり、歌を歌ったりと楽しい時間を共有させて頂いているのみです。参加者の皆さんが喜んで頂けたら嬉しいのですが…。(福祉委員・女性・50代)
- ◆アイデアは思いつきませんが、少しでも若いうちに進んで友人に話しかけ、一緒に小さな事から始めると他の人も仲間に入ってくださり、自分の健康のために、また、地域のためにもよいかと思います。(ボランティア活動者・女性・70代以上)
- ◆イベント、行事などどうしても諏訪周辺に集まってしまうので、是非他方へも分散してやってもらいたいと思います。(ボランティア活動者・女性・60代)

(6) 社会参加

- ◆福祉会活動へめいっぱい参加したいが活動日が基本平日ばかりなので無理がある、経済界の休日を利用してほしい。(福祉委員・男性・40代)
- ◆他の役が多すぎるため負担が大きい。会社員では平日の活動は難しいです。(福祉委員・男性・40代)
- ◆NPO法人で障害者支援をしていますので、1～13間にはぶかせていただきました。地域の中で障害のある方も普通に暮らしていくまちになり、共生していけるように支援していきたいと思います。(ボランティア活動者)

(7) ボランティア

- ◆高齢者世帯を訪問すると、ゴミ出しや買い物等日常生活のほんのちょっとした事に困っている方が多い。シルバー人材センターの「家事おたすけ隊」があるが、もう少し低価格で近所の方がボランティアになれる仕組みが構築できたらよいと思う。幸いこの地域に大きな災害は起きていないが、災害が起きた時に民生委員・児童委員はどう活動したら良いのか。又、市や社協との連携がどうするのか。避難所運営等勉強会をして欲しい。(民生委員児童委員)
- ◆行政とボランティアが提携して福祉活動に取り組むことは、とても大切なことだと思います。今、行政のサービスがだんだん弱められていると思います。市職員の働く環境が悪くなっているのではないのでしょうか(非正規化が進んでいる、正規職員の多忙化)福祉・教育予算の削減等が原因。それではボランティアが悲鳴を上げて、積極的な担い手が減るのではないのでしょうか。(民生委員児童委員)

- ◆民生委員児童委員の活動は全てがボランティアであると思います。豊川市の研修について一つお願いがあります。1泊の研修会ですが、日帰りとしていただきたいのと、費用は全て地区の活動費で支払う方が良いのではと思います。赤い羽根共同募金の大切なお金を使うべきではないと思います。共同募金で集まったお金はもっと必要とされている方々や、車、車椅子、手助けの資金として使うことが良いのではと思います。私は1泊研修に参加しません。大切な募金を減らす訳にはいかないからです。募金をお願いした時の相手方の事を思うとき、ボランティアである自分たちが使うなど、考えられないからです。私の地区では高齢化が進み、おひとりで暮らして見える方がとても多くなりました。その方々とお話をした時に感じた事は、話す相手が必要だという事です。民生委員だけでなく、福祉機関を充実させて、人を増やし、話し相手を増やすことに募金を使って頂きたいと思います。小学校、中学校教育の中で、ボランティアの体験をさせていただきたいと思います。学力も重要ですが、人としても中身、心を育てていただきたいです。大人になったとき、町内会、子供会、老人クラブ等、ボランティアで役員をする機会に、しっかりと手を挙げられる人づくりも大切ではないでしょうか。社会の仕組みをきちんと頭と体に教えて、社会で生きる事の大切さと難しさを教育して頂きたいです。(民生委員児童委員)
- ◆76歳、今は持病もなく健康です。息子夫婦と暮らし、地域のボランティアに参加していますが、この状態がいつまで続くか心配です。若いころには考えもしない老後です。なるようにしかならないと思い、明後日のことは深く考えず、今日一日を楽しく過ごせたらよしとします。主人を10年前に送り、その際一生懸命看病いたしました。私も若かったからできたと思います。今の生活が送れるのも、主人のおかげと感謝しつつ、その日の出来事、家族の話を亡き夫に報告しています。近所の人とは、出会えばよく立ち話をします。楽しい話題、明るい話。(福祉委員・女性・70代以上)
- ◆貧困の子供たちに食事を提供するボランティアをテレビで見ました。子供、一人暮らしの人、食事づくりが面倒になった人たちを集めて食事ができる場所があったらよいと思います。(福祉委員・女性・60代)
- ◆町内会の人口(人数)に応じて、福祉委員2名と福祉ボランティアの数も比率で定数とするとうい。例えば、福祉ボランティアは人口20~30人に1人の定数とする、というように。(福祉委員・男性・60代)
- ◆サロンのボランティアをしています。サロンに来てくれる方は、だいたい決まっています。来ない方をどのようにしたら来てくれるようになるか一人ではなかなか来れないので、誘い合うのがよいと思うのですが、なかなか難しいです。他のサロンがどのような活動をしているのか聞きたいです。(福祉委員・男性・60代)

- ◆身近の中から何かできないかと思つめた時、ボランティアで通学路でもある道路の缶、ゴミ、草取りをする事にしました。気の合った方で始めましたが、なかなか人員が集まりません。10年経過しましたが区に広がる事はありませんでした。自分達の住んでいる市、自分達で美しくするのは当たり前だと思うのですが。高齢にもなりいつまで続けてできるのか難しくなってきました。区に広げ一人でも多くの賛同を得るにはどうしたらいいのかが、私たちの課題です。地域福祉の意見アイディアにもなりませんが行き詰まっている方々のいろいろなやり方を聴いてみたい。(福祉委員・女性・70代以上)
- ◆一年限りの町内役員が福祉委員をやっているが半数はボランティア福祉委員を設置すると良いと思う。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆我、町内会でもメンバーの高齢化が進み、サロン会の存続が危ぶまれている。現メンバーに甘えて20年近く、後継者の育成をしなかった事を後悔している。又、近年の雇用延長で他の組織でも同様に役員メンバー探しに困難を極めています。若い人の参加も望むが仕事や育児等でボランティアは無理と断られる。将来的に重要な課題、人員の確保を如何にするかに尽きると思う。(福祉委員・男性・60代)
- ◆高齢化社会になり、高齢者が長く仕事を続ける事で、福祉、まちづくり、ボランティア活動に携わる時間的余裕が無く、無償で活動をしてくれる人材がいない。いたとしても高齢化している。人材確保のための施策やアイディアが必要である。(福祉委員・男性・60代)
- ◆困ったときはお互い様の地域の中で例えば電球を替えて、家具を移動させて、というような困りごとを、助けてくれる有償(安価)なボランティア制度があれば暮らしやすいただろうと思う。(福祉委員・女性・50代)
- ◆30年くらい前からいろいろなボランティア活動に関わってきたたくさんの友達もできましたが、各種グループのどこも新しい人材が育たず高齢化になり、いずれ解散状態です。いつの間にか世の中が経済効率優先の思想になってしまったからではないでしょうか。本気で市民活動による社会福祉を目指すなら、先ず税金で給与、年金をもらっている公務員に対し、率先して活動参加すべく、研修、実践をしてみたらどうでしょうか(10年以上前迄は市職、県職のOBが地域社会で活動してみえましたが今は殆ど見かけません)(福祉委員・女性・70代以上)
- ◆町内会での活動をするにあたり実際に活動に参加出来るボランティアの人を増やしてほしい。(福祉委員・女性・50代)
- ◆今私たちのまちでは月に一度サロン会、老人会お楽しみ会を行っております。ボランティア達との交流もよく、とても楽しみに来てくれます。町内会みんなで見守り

をしていこうと思っております。また、月に一度の老人会お楽しみ会の時は、盆踊りをやって運動をしております。昔はどこの町でも盆踊りがありましたが今ではありません。踊りの輪で交流があると思います。(福祉委員・女性・70代以上)

- ◆インターネットで、「社会福祉協議会、成果」で検索しても、官製広報以外見当たらない。日本の子どもの6人に1人が貧困で「おなかが減って眠れない」状態は、高齢者の一人住まいよりもはるかに胸の痛む問題であるが、「こども食堂」を運営しているのは民間のボランティア活動であって社協ではない。「見守り」だけで援助のできない活動であれば意味がないと感じる。社協の活動が盛り上がらないのは、「経済的な支援ができない組織」だからではないだろうか。「こども食堂」を見習ってアイデアで「不足する資金」補ってほしい。(福祉委員・男性・60代)
- ◆現状。福祉委員、ボランティアは無償である。住民の60代、50代といくにしたがって、後継者出ない。地域福祉、高齢者のための福祉活動に対する協力の認識が薄れている。他人のために働こうという意識が減っている。対策案。福祉委員や、福祉ボランティアを有償とする。町内会で順番の指名制にする。老人会と福祉会が対象とする年代の人や目的が大部分重複している。これを一本化していき、役員も活動も同じにしていかないと、10年先に福祉会が消滅する地域が出る。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆高齢者の食事づくりを月一回していますが、今迄に一度も検便をした事はありません。もしも、食中毒が出た時は誰の責任になるのでしょうか。又、食事をいただく人は高齢者もボランティアの人も食事代を支払っている。200円～300円出しているのにボランティアと言えるのでしょうか。疑問に思っていますが、代表者に聞きにくいため黙っていますが。(福祉委員・女性・60代)
- ◆私は高齢者で一人暮らしです。地域でボランティア活動に於いて(食事作り)日常生活で食事をつくっているのも、その延長線上で唯いろんなメニュー、食器の準備、食材の調理、食器洗い、片付けなどできることに喜びを感じています。もっと若ければ、もっといろんな面で取り組みたいと思いますが、現状では自分に与えられた事ができれば良しと思っています。現状の置かれた立場を有意義に関わり過ぎたいと思っています。(福祉委員・女性・70代以上)
- ◆地域の住民が年代別に福祉に求めているものを知りたいと思います。福祉委員になっても既存の行事と与えられた仕事を消化するのみで、自ら積極的に活動することのむずかしさと壁を痛感します。単独で行える福祉と、仲間と共同で築き上げる福祉の両立を目指して日々努力を重ねるだけです。福祉というボランティアの精神を地域の皆さんに理解していただくのも活動を拡大する手立てなのではないかと思えます。ちなみに、私はこの年齢になって初めて福祉委員を経験しました。そして、福祉委員の存在の大切さを再認識しています。(福祉委員・女性・60代)

- ◆65歳以上の男性に、もっと色々な福祉活動に参加していただきたいと思います。地域にもっと目を向けて、自分の将来は皆に見守られて老いて行く事を自覚して、今は出来る事ボランティア活動などに参加して欲しいです、女性も同様です。(福祉委員・女性・60代)
- ◆町内の人達が高齢化してきています。若い人達は共働きの人が多い為、毎年福祉委員を選出するのもなかなか大変です。福祉のボランティアを高齢者がやらなければならない現実もあるので考えさせられます。(福祉委員・女性・70代以上)
- ◆ボランティア活動に参加して、大勢のご近所のおばあさん、おじいさんと接する事が出来て、いい機会を与えて下さったと思っております。又、サロンで作る手作りの小物、折り紙等々色々つくり、学べるし楽しいです。この活動に参加しなければ知らない事がたくさんありました。今では感謝しております。(福祉委員・女性・60代)
- ◆ボランティアをしています。福祉委員は民生委員さんとの関係を密にすることはとても良いことだと思います、が、一人暮らしの方への訪問をするように言われたのですが、福祉委員が日に一度訪問して安否を確認するのはどうなのかな？と思います。市の方からの指示なのでしょうが？訪問する人数が多すぎるならば、方法を考えるべきだと思います。(福祉委員・女性・60代)
- ◆今後高齢となる世代(50~65歳)への呼びかけ、参加を積極的に行う必要がある。ボランティアや福祉活動において若い力の発想力、行動力を導入し、活性化する必要がある。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆私は2年間地域の福祉委員として参加してきました。仕事を持ち、月に数回と言えども負担を感じる事は多々ありました。定年を迎えられて、毎日が日曜日の方はいらっしゃるかもしれませんが、いざ役員となると責任もあり、後任を引き受けてくれる人はなかなかいませんでした。ボランティアに理解がなければ誰でも出来る仕事ではないのです。下校の低学年の見守りも良い事とは思いますが、やはり負担に感じました。しかし喜んでくれる人が大勢いたことはとても嬉しかったです。もしも自分の仕事が無かったら、もう少し委員を続けたかもしれませんが、家族への負担を考えると2年間の任期は良かったです。(福祉委員・女性・60代)
- ◆高齢化社会となり独居暮らしの方が増え見守り等が必要になるとは思いますが、私たちの地区では20名以上の60歳以上の独居者が有り、月一度の見守りを行って居ますが、月一度だけでは孤独死を無くすことが出来ませんが、見守りをするボランティアが足りません。(福祉委員・女性・70代以上)
- ◆この地区の皆様のボランティア意識は高いと思います。むしろ何かしたいと思って

みえるかたが多いです。声をかければ気持ちよく引き受けていただけます。ただ、その窓口・機会が少ないだけだと思います。(ボランティア活動者・男性・60代)

- ◆私は現在「団体活動」と「個人活動」の両面でボランティア活動をしています。 「団体活動」の方は豊川市ボランティア連絡協議会に所属している関係で、「情報」がいろいろと入ってきますが、「個人活動」に対しては全くと言っていいほど情報が入ってきません。どこでどんな方がどんな風にボランティアをやっているのかわかりません。出来れば「個人活動」に対する「グループ＝協議会」を組織していただけると、もっと幅広く活動できるのではないかと考えます。よろしくご検討ください。(ボランティア活動者・男性・70代以上)
- ◆高齢者の独り住まいの増加が近年に問題視される、将来に向けて不安である。ボランティア活動も限界がある。市の取り組みも重要な役割を占めると考えられるので、地域にマッチした細かい活動を期待します。(ボランティア活動者・男性・60代)
- ◆小地域(行政上の最小単位の組)の集まる機会が昔と比べ非常に少なくなり、職業・価値観の多様化で地域の間人関係が希薄になっている。「地域の子供は地域全体で守って成長を見守ろう」という意識も低くなっている。また、町内会やボランティアの人がいろいろな講習会に参加したところで組単位まで浸透していない。組単位で人々が組の問題を気軽に話し合える意欲と雰囲気とが醸成されることが必要で、その具体的方策を立てる必要があるのではと考えます。又、周辺部で人前で意見を述べることを控える習性も残っています。(ボランティア活動者・男性・70代以上)
- ◆地域福祉活動について、回答しましたが、実際にボランティアで地域福祉活動をどんな人がどんなボランティア活動をしているのか、全く不明です。私は町内会・老人会などには積極的に参加し、毎年「お祭り」の準備に役員・組長なら年約20日以上、公民館などの清掃に年に4～5回ほど出ていますが顔ぶれはほとんど変わっていません。他に市民がどんなボランティア活動をしているのか、それを知りたいのが本音です。(ボランティア活動者・男性・60代)
- ◆ボランティアとして活動していますが、町内会会長さんは1年で終わりです。それで活動は済み、民生委員、生涯学習と各団体は聞いてますが、それぞれの内容は良く知りません。活動をしている様子も見えません。(ボランティア活動者・女性・70代以上)
- ◆老人と子供に関連したボランティアです。家族構成により、いろんなボランティアに加入するのは難しいです。性格上好みかどうか人間関係も難しい限りです。町内で2つ、地域で1つ、いくつもできません。私たちも高齢化、何事も若くないと動けません。現在グループの中で助け合って動いています。細く長く続けられる事を祈ってます。このままで楽しいです。(ボランティア活動者・女性・60代)

- ◆少子高齢化が進んでいる事から、ボランティア活動を自ら進んでやってくれる方が高齢化し、グループも減少している事から、行政が各学区長会に働きかけて役員自らが、積極的にボランティア活動をするようにしていかないと掛け声だけに終わって成果は出ないと感じます。特に最近各小学校区内においてPTAの役員が児童の見守り活動が重要と思う学区は活発に実施しているが、役員が仕方なくやっている学区は見守り活動は殆ど見かけないので、大問題だと思う。(ボランティア活動者・男性・70代以上)
- ◆社会福祉協議会「社協」の存在や名前は知っていても具体的に何をしている所なのかよく分からない方もいると思います。社協では「こんな事ができます」とか「こんな時は社協へ」など「こんな」の部分具体的に知らせる事ができると良いと思います。学生時代にボランティア活動に携わった若い方が社会人になっても引き続きボランティア活動に参加していただけるような仕組みや、学校などへの呼びかけをしていただきたいと思います。また、地元の企業などにも、休日にボランティア活動に参加する意義や機会を広められたら安心して住み続けられるまちづくりにも繋がっていくのではないのでしょうか。ボランティア活動は世界を広げ、人と人を繋げます。(ボランティア活動者・女性・40代)
- ◆ボランティア、市民活動センターか、ウィズとプリオに分かれているのか、ボランティア活動者にとって大変な不便さを感じている。市民活動センター(プリオ)の存在は無駄のようです。社協と一緒にしてもらおうとボランティア活動する上でも便利になると思う。(ボランティア活動者・女性・60代)

(8) 福祉活動

- ◆福祉活動に参加する事は大変良い事でやりがいもありますが、活動日数が無駄に多いのは考えてしまいます。4つの委員会での日数だけ多く出て形だけやりましたという事にもうんざりする人が多かったです。委員長や副委員長になられた方は考え方を改めた方が良いと思います。仕事中に来られている方もいらしている事も考えてください。(民生委員児童委員)
- ◆弱い人達が幸福になれるためには、政治からみなおすことも必須です。福祉の難しさを強く感じさせていただけたことは感謝です。途中からお役をひきうけました。それ以前には児童委員の仕事のなかみが全く理解できていなく、入って行ったときには他の方のこともわからず、欠席しがちになっていたことで肩身が狭くなりました。仕事の併用がむつかしく、月に一度の会議が精一杯でした。無理して会合にでていきましたことも苦痛でした。人選される時には一人だけで途中で入っていくことのないようにされたほうが気持ちの負担が軽くなると思われまます。お役に立てなくて、申し訳ありませんでした。(民生委員児童委員)

- ◆民生児童委員として早6年になります。これから後、3年地域活動に頑張っていけます。町内会の会長をやりながら、子供会、福祉会の方、又同じ町内会の民生委員の方々など、お互い助け合い頑張っていきたいと思えます。これからもご指導のほどよろしくお願ひいたします。(民生委員児童委員)
- ◆各地区にある福祉会をより発展させていくためにはその地区で中心になって活動できるリーダーを育てる事が何より大切と思われる。とりあえず地区のみんなの共通認識としてその考えを共有して欲しい。(民生委員児童委員)
- ◆地域福祉委員は継続がまず第一、福祉委員会はサロンの会長や代表も単年度就任ではその会の実態を把握することができない。4～5年で新しい人にバトンタッチできるような人材の確保、育成を進める必要があります。このような事に役立つセミナーの開催なども必要ではないかと考えます。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆せつかくの福祉講座が平日の昼間に行われる事が多く、一般サラリーマンが福祉委員として参加できない事があるのでとても残念に思う。社協の窓口も土日は使えないため備品の使用がまったくできなかった。(福祉委員・男性・50代)
- ◆例年通りのマンネリ化のために参加者が少ない町内放送や回覧でお知らせでは、じり貧になりそうです。福祉委員が分担して戸別訪問で説明する事が必要かなと思えます。その結果、実状が認識され、今後の活動に生かせると思えます。事前会議をしっかりとやる事が必要と感じます。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆働く女性が多く、地域福祉等(町内役員等)お手伝いを引き受けてくれる方が非常に少ないと思えます。退職した方等に町内会、福祉会等々への参加を求めたらと思うのですが、なかなか大変と思えます。(福祉委員・女性・60代)
- ◆(社協へ) 私たちの福祉会は正式な福祉委員が立ち上げから13年間変わらず、毎年区長さんが印をもらいにみえるくらいでお任せになっている。何回か会った地区の交流会でも、後継者がいない事が問題として取り上げられるが、そのままで、社協の方へ相談しても有効な手立てや参考になる工夫はいただけない。土地柄や、その地区独特の性質もあると思うが、全市に担当者何人か見えるはずで、その地域の工夫なり、実践できそうな事例もご存じだと思うので、いろんな例を集めて示していただきたいと思えます。(市の方へお願ひ) 近年防災の気運が高まっています。避難訓練などやってみえる所もありますが、私たちの地区は避難所になっている場所に一度も行った事はありませんし、防災マップ(具体的に地区の中の障害者、老人世帯などの地図など)も作られておりません。本来市として最低限の訓練や準備しておくことを町内会へ通達するべきだと考えます。福祉が中心になることでもなく、町内会がやはり主導で福祉も協力するべきことではないでしょうか。(福祉委員・女性・70代以上)

- ◆福祉に関心のない人も多く、福祉委員を引き受けてくれる方を捜すのに一苦勞です。同じ方がいくつかの役をやってみえる場合も多く、公平ではありません。(福祉委員・女性・60代)
- ◆各町内会の福祉委員会への活動資金をもっと充実していただきたい。上部組織に町民の支援金がすいとられている感じがします。活動(支援)は各町内会の福祉委員の皆さんが熱心にやってくれています。もっと、現場に資金の援助をお願いします。(福祉委員・男性・60代)
- ◆地域福祉委員会の活動が高齢者向けのものに偏っていないか。(ボランティア活動者・男性・70代以上)

(9) 民生委員

- ◆私は民生委員児童委員になってからは独居老人の見守り活動を重点的に行ってきたつもりですが、早期に地区会長を任じられ、それに伴い豊川市民児協役員、地域の保育園・小学校・中学校の運営協議会役員等も任じられ、活動範囲が広がり負担感が増えて、自主的に活動している感が薄れて来ています。私は今回で民生委員児童委員を退任しますが、これから実の両親の介護が待っていますので、地域の福祉に関わることが少なくなると思いますが、機会があれば地域福祉活動にも関わって行きたいと思います。(民生委員児童委員)
- ◆委員の構成が退職者等、高齢者に偏っているように思われます。若者や弱者の問題点、要望等は当事者でないと分からないと思います。それらの意見を代表する様な委員が含まれる構成、となれば良いと思います。その為に時間に余裕のない人達が参加できる組織?が必要と思われます。(民生委員児童委員)
- ◆最近役員のなり手が無い為、老人クラブが無くなっていくケースが聞かれます。役員の負担が軽くなるような支援をして欲しいです。私共の町内では福祉会が出来ませんが(小さな町)老人クラブが福祉会の役割をしています。(民生委員児童委員)
- ◆民生委員をやっていて思う事。まだ3年すんだところとか、もう3年すんだところとか、やっと民生委員の仕事の大まかなところがわかってきたところ。地域の中でできるだけとけこむよう努力はしているが、自分自身の生活に追われているところもあり、なかなかうまくいかない。民児協で話される内容の出来事にはもれの無い様に連絡をしっかりと取る様にしている。福祉票の書き方を精査したり、緊急連絡先が変わった場合は教えてもらえるよう声かけをしたりしている。区長さんによって転入された世帯の名簿を見せてくれないので民生委員のとらえ方を一考してもらえるとありがたい。(民生委員児童委員)

- ◆民生委員児童委員は皆忙しく、家庭、会社、地域役員、PTA、その他諸々の諸役のかたわら委員を務めて頂いているという事を市の方々は分かっているのか？あまり雑用をさせないで頂きたい。又、研修というが子供達や高齢者への見守りと傾聴が大切であって。自腹を切って研修へ行けというような考えはやめにして頂きたい。赤い羽根募金も民生委員の慰安旅行（視察旅行）の為というのであれば募金も旅行も協力すべきではないと思いますが…。民生委員児童委員のボランティア精神を削ぐようなアンケートも、なにを考えているのか分かりません。（民生委員児童委員）
- ◆私は過去5年間の中で町内会役員・福祉委員・民生児童委員を体験させていただき、様々な角度から地域の方たちを見る事が出来ました。特に独居の方々に訪問する際に明日は我が身なんだと痛切に感じました。独り身の淋しさ悲しさなど拝顔して気づきました。頑なに拒絶する人、又反対に次回の訪問を心待ちにされている人など人間模様を観させていただいただけでも感謝です。（民生委員児童委員）
- ◆豊川市内においても高齢化が早い勢いで進み、一人暮らし65歳以上や2人老人世帯が一人あたりの民生委員の担当が多くなっている。その対象者を十分に見ていくには大変になっています。よって町内1人の民生委員を2人にするなど考えて欲しい。（一時的にここ10年間くらいは特に対象者が多いと思います）（民生委員児童委員）
- ◆益々高齢者が増え、人口の比率での民生委員数だとは周知していますが…。是非、民生委員数の増加を希望します。（民生委員児童委員）
- ◆民生児童委員と地域福祉活動推進委員を兼務している頃から、100周年記念はめりたいが、目的、制度が時代にマッチしているか？
- ◆12月に改選するのは不合理。年々福祉に関する行政サービスが充実しており、民生児童委員は使い走りになっているように感じる。個人情報提供：生年月日について、月日までの情報は不要（これで個人情報の価値が減る（リスクが減る）、我々は本人確認を必要とする活動はしていない）。福祉サービスにおける年金は数万で十分。民生児童委員の活動は個人活動であるのに比べ、地域福祉活動推進委員会は、組織活動で自由度が有り、やりがいを感じる。（民生委員児童委員）
- ◆福祉委員の選出に問題がある。町内で順番だからと言われ参加しているが他のメンバーにも同様な形で勤め人が多く、講習会で得た事を新規にやろうと思っても委員への負担が増えると思うと強引にやる事ができない。委員の選出法を見直さないと積極的に進める事ができなく、はがゆい思いがする。連区福祉はあるが実際には町内福祉が運営している。各町から2～3名を一つの連区福祉にまとめ全体を動かす方式が良いと思います。（福祉委員・男性・70代以上）
- ◆12月から初めて民生委員児童委員になって、多くの一人暮らしの高齢者の方、また、

多くの福祉に関わってみえる方がいることを知りました。民生委員になったことで福祉委員、更生保護女性会、サロンにも関わっていける。まだ、何ができるか何をしたらいいのか分からない事だらけですが、せっかく役をいただいたので自分のできる事を精一杯やりたい。他の方だどんな取り組みをされているのか知りたい。(福祉委員・男性・70代以上)

- ◆民生委員の切り替え時期を12月切り替えではなく、年度切り替えにしてほしい。行事等行う場合やりづらいことがある。(福祉委員・男性・60代)
- ◆福祉委員と民生委員と町内会の連携がどうなっているのかいまいちわからない。(行事内容等。福祉委員が何をやればいいのか。)福祉委員ができて年数が浅いせいもあるのか。何もできませんでしたが2年間ありがとうございました。担当者によるしく言ってください。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆民生委員と福祉活動は目的が似ている。民生委員がもっと積極的に対応すればよいと思う、それができないなら連携を進めてほしい。おおよそ、同じ仲間が集まって活動しているが、広がりや殆ど感じられない。企画の対象になる人が参加してくれないのでむなしい。福祉活動について、住民の関心はどうか。委員の努力に反応してほしいものです。委員のなり手がなくなる。一度原点に戻って考え直してはどうか、やりがいのある活動にしたいものです。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆民生委員さんはもっとこまめに家をまわってほしい。一番身近な存在なので。民生委員の仕事内容をもっと住民に情報提供すべき。広報などで。私は全く知りません。地域のデイサービスや介護関係の情報をもっと流してほしい。規模やポリシーなど。住民は知るすべがない。(福祉委員・女性・60代)
- ◆支援を要する人の情報が町内会や福祉団体に伝わらないので、災害時の避難誘導、助け合い、平素の見守り活動が十分とは言えません。個人情報保護は重要であるが、命を守ることが最も重要であり町内会未加入者や独居の高齢者や障害者を市や町内会、各福祉団体がその活動内容に応じた情報をどのように共有するかの基準をどこに確立するかが協働がうまくできかが分岐点になると思います。ご参考、今回福祉会に配布された高齢者の住まいの手引き、高齢者・認知症の方の見守りガイドブック・見守り講座多治見市社会福祉協議会等は大変参考になりました。(福祉委員・男性・60代)
- ◆民生委員を引き継いで、12月1日から、きちんと仕事を分類して、記入していくことについて、最初から親切に教えていただければ、これから先頑張って進んでいく気持ちが強くなったかと思えます。変わったら全部次の人任せで勝手におやり下さいという感じで、この先3年、6年と心から地域の為に力を注ぎたいと思っても心細く感じました。何でも最初は慣れないもので、そうはいつでも年もたてば慣

れてきていろいろな行事にしっかり参加し、記録もしっかりできるようになるかと思ひます。昔から民生委員さんは大変なお仕事でえらい方だなあ。(福祉委員・女性・60代)

- ◆福祉委員を長年やっておりますが、私の努力不足もあると思ひますが、なかなか後継者が育ちません。町内会長にお願いしても後任を決めてくれません。福祉委員も社協の会長から辞令をいただくなど、地位向上を図って、福祉委員も民生委員同様、大事な町内役員であるということを、町内役員、会長さんに自覚していただひては如何でしょうか。(ボランティア活動者・男性・70代以上)
- ◆民生委員児童委員と福祉委員の活動内容の区別がはっきりしてない。活動内容を明確にしてほしい。市行政は、民生委員児童委員に業務を委託しすぎはしないか。(ボランティア活動者・男性・70代以上)

(10) 福祉ニーズ

- ◆高齢者の方、障害者の方々が町内会退会する事も多くなりそうで不安です。隣近所に対し、得手勝手な生活を始め、地域福祉交流の場所から遠くなる事を説明しても目先の事、苦情が多く残念です。(民生委員児童委員)
- ◆一人で40人も50人も一人暮らし高齢者の見守り活動をしてる人もいれば、10人以下しか見守り活動のいない人もいる。忙しさが全く違うので、もう少し平等になるように民生児童委員の配分を考えた方がよい。町内会未加入者の把握がむつかしい。これからは2人暮らし高齢者でも老々介護、認々介護の世帯が増えることが予想される。それらに対してどのように対応するのか、すべて民生児童委員まかせでは困る。高齢者の多い地域には民生児童委員の数を増やすとか、民生児童委員と同じような役職を新しくもう一つ考えるとかしないと回っていかない。(民生委員児童委員)
- ◆福祉必要者の発見→登録→支援協議→支援と言ったサイクルでの方法を決めるとよい。(いつ、どこで、誰が行うか等)(民生委員児童委員)
- ◆他市の事は分かりませんが、豊川市の各事業は他市に見劣りするものではないと聞いています。ただ、市、社協、他各種関係団体の連携が疎く、バラバラな活動の様に感じます。ベクトル合わせのキーが必要では？民生委員を拝命し、ボランティア活動に目覚めました。65歳過ぎで暇をもて遊んでいる人も多くいます。ちょっと背中をプッシュすれば、小生のように変身する方も多くいると思ひます。上手に仕掛けを作っていけば、相互にメリットがあると思ひます。ただこの時、ほんのちよっぴり手当てを出すと張り合いが出る。高齢者への予算と若者(教育他)間に予算配分に偏りがある。将来に日本を担う子供達へ予算を傾注し、若い人たちが、明日に語ら

える世の中にしていくべき…。戦争を知らない老人は少し遠慮が必要と思う。(民生委員児童委員)

- ◆高齢者で特に足の不自由な方に、参加してほしい行事があるが、家族の手助けが得られない家庭があります。何かいい方法がありますか。福祉会の会場を町内の各地で開催していますが、それでも参加しにくい方も多くいると思います。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆福祉に積極的に関わる人が少ない。人材を育成して確保してから福祉会活動を行うか。(福祉委員・女性・70代以上)
- ◆豊川市の福祉政策の具体化がよくわからない。各町内がめいめいに活動をしているのではないか。町内での役割というのは、担当期間をそつなく過ぎることが一番で、やらされている感が強い。担当者になり手がなくて困っている。(その他の町内の委員も同様)。このままだと将来的には希望が持てない。どうかしてほしい。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆住民からの困りごとを聞いてくださる福祉関係者が、いつでもスタンバイに対応してくださるなら。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆福祉委員として10年以上前福祉委員が出来た時、初めて役員として受け今までの福祉を見ていますが、皆様どうも間違った委員をやって居るようで鼻だけ高く決して市民館の役員ではなく地域の役員であって欲しいのが今までの願いです、これはどうも私共の地域だけでなく、どこもこんな感じの意見を聞きます、もっと何か良い方法はないでしょうか。今現在サロンと高齢者参加の活動をして20年位になりますが、この後の活動をして下さる若者が居ない事、会社員さん達が年齢を重ねデイサービス、老人ホーム等に家族さん達が望まれ一人、二人と減り、会員が少なく、又、スタッフとして働いて居る人も年を取り続ける事に不安を持ち来年4月をもち一応閉める事にしております。福祉の助けも無く続けて来ましたが、今でも声掛けしても出席がないままに幕がおりそうです。とても悲しいリーダーの悩みです。(福祉委員・女性・70代以上)
- ◆これから益々高齢化が進みます、地域の福祉の充実をしっかりとしてください。(福祉委員・男性・60代)
- ◆助成金が少ないために隣町と合同で活動している。できれば、自分が住んでいる町の福祉に貢献していきたい。町内単位で助成金を出していただけると活動がスムーズにいくような気がする。隣町の福祉委員と会議をしていると気が滅入る。愚痴みたいなことでごめんなさい。(福祉委員・女性・60代)

- ◆散歩・外出した際に公園等で休んだりリハビリ（簡単な）道具の設置があると自然に体づくりができるのではないかと思う。市で会食が進められているが、会場場所まで自分で行くのが条件になっているが、行けない人の方が深刻で、孤独で寂しい心細い思いをしている人たちの事をもう少し考えてほしい。（ボランティア活動者・女性・60代）

(11) 高齢者ニーズ

- ◆介護用品引換券の同種で、マッサージサービス券、洗濯サービス券、食事献立サービス券を増やす。（民生委員児童委員）
- ◆更に高齢者が増加する中で、高齢者の福祉については同世代の健康な強者が一人暮らしや健康に優れない弱者を介護する制度が必要と思われる。福祉に携わる団体と地域の老人クラブとの共同がもっと行われる必要が思われる。老人クラブと福祉団体がもっと話し合う事が必要と思う。（福祉委員・男性・70代以上）
- ◆とりあえずは出来る事から。例えば一人暮らし高齢者二人住まいとかに声掛け、見守り、悩み相談が出来るようになればとても良い。年寄りになると誰かに聞いてもらいたいものです。（福祉委員・女性・70代以上）
- ◆認知症を心配している高齢者は大勢いると思う。発症予防、トレーニング法などの専門的指導者による講習、教室などあっても良いと思う。福祉活動に携わる者は高齢者、若手後継者もおらず、負担を感じてきている。このままでは消滅の恐れもある。（福祉委員・女性・70代以上）
- ◆集合住宅に特に問題を上げるとすれば高齢者の外出が少ない（買い物以外）、集合住宅の一番大きな問題、入居者同士の触れ合いが無い。（自分）自身で生活まで干渉されたくない。（福祉委員・男性・70代以上）
- ◆これから益々高齢化社会になる現状で、高齢者支援事業で、一人暮らし、生活弱者世帯の手助けは必要と考えます。地域社会における貢献度を民生委員だけでは行き届かない事があります。これは6年間民生委員に就いて感じたことでもあります。シルバー人材センターでは、家事支援として、買い物代行、ゴミだし、清掃、片付け、水やり、花壇の手入れ、お墓の管理清掃、家庭内菜園補助等々ワンコインサービスで実施しています。これからは介護補助もする予定です。これからの事を町内会、全地区民生委員協議会、社会福祉サロン等を通じて幅広くPRをしていただいて全市的に家事お助け隊を実施していけば、地域社会の連携もとれ必要と考えます。現在も活動して実績はありますが、もっと幅広く実行することを要望致します。（福祉委員・男性・70代以上）

- ◆高齢化が進んでいるので、まず健康に暮らすための工夫が必要。また引きこもりにならないように、皆で集まって楽しく時間を過ごす機会を作るべき。認知症も増えているので声掛けが必要。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆福祉活動を10年余りしているが特に後継者がいなく困っている。又、サロン等への参加に新しい人の参加が無い。今後福祉活動をどの様にしていけばと悩んでいる。今後活動をどうすればよいか町内会とも相談しているが、行政側も福祉活動の必要性ももっと啓蒙してもらいたい。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆高齢難聴者のための補聴器の使い方、利用のすすめなどの講習会、補聴援助システム(ヒヤリンググループ等)の試聴、PR。障害者に対してだけでなく、誰にも優しく伝わり易い配慮が社会に広がるよう差別解消法や合理的配慮などの研修が行われるように。(ボランティア活動者・女性・50代)

(12) 子育てニーズ

- ◆高齢者障害者などひとり親家庭、子育て家庭といろいろとありますが、何か問題がおきた時この事例はまずどこに持っていくべきかいつも迷います。3年間民生児童委員をやってきましたが、それでも迷います。1つの窓口をもうけて、それから振り分けるとか、とりあえず迷わず受付窓口を1つにしてほしいです。いろいろ書きましたがいつもそれぞれの窓口の方々は大変にしてくださりありがとうございます。(民生委員児童委員)
- ◆高齢者・障害者相互理解を深めるためにもケアの一元化の方向へ行っていきたい。(民生委員児童委員)
- ◆2016年度から、子育て支援センターが児童館に集まる親子に対して、アウトリーチに取り組みだしたことはとても評価する。最近は乳幼児を持つ親子は児童館に行くので、児童館を子育て支援センターや保健センターとの連携は今後も深めて欲しい。児童館職員も乳幼児の発達の過程や親子の触れ合いの必要性等を学んでいくことで、児童館が子育て支援の拠点になっていくと考える。(民生委員児童委員)
- ◆現在は隣近所の声掛けが難しい時代になっており、子供たちの登下校に声をかけても、変な目で見られてしまう。何かよいアイデアをと思う。大人も子供も参加して、公園の草取りとか神社の清掃を一緒にやるとよいと思うが、昔役員をやった時に例をつくるなどと言われ、難しい問題です。(福祉委員・女性・70代以上)
- ◆小坂井町の元役場の今は使っていないところを(空いている部屋)これからの大切な子供のために使ったらどうですか。今いる児童保育の場所を1度見に来たらどうですか。あんなに良い建物を空けておくことはないです、早く考えてあげてください

い。いつも、思っていることです。(福祉委員・男性・70代以上)

- ◆まちごとに子どもと高齢者が交流できる場所をつくる。それを中心にして町内でまちづくりをする。連区の運動会をマンネリ化せずに変化させて交流の場にする。三世代交流が実施されているが、現在は地域に引っ越されても町内会に入らないと申し出る人も出てきており又、高齢者の単身も増えている一部の人々に力だけでは福祉から置き去りにされる人も増えてくるのではないのでしょうか。(福祉委員・女性・60代)
- ◆4人の子育て中(7才、5才、3才、5カ月)です。市地域の同世代の方々との交流はもちろん、子ども同士、親同士、さらに地域に住む私たちの親、祖父母世代の方々とも交流をもち、子ども達を地域で見守っていける環境になるとよいと思います。(福祉委員・女性・30代)
- ◆崖の上のポニョの中にある様な保育園と老人施設が隣り合わせにあり、行き来ができて、孫とおじいちゃん、おばあちゃんみたいな関係ができるような仕組みで子育ての悩みを相談して、アドバイスがもらえる。こんな昭和30年頃の日本にあった人間関係ができたならよいと思う。でもいまの日本には知らない人が勝手に入って事件になる、悪い事をするニュースが次々と起こっているのが現状。無理なお願いだとは思いますが、暮らしやすい日本に豊川になってもらいたいです。(福祉委員・女性・50代)
- ◆朝の登下校の当番ですが、時間が合わなくて申し訳なく思います。犬の散歩に夕方パトロールの服を着て近くの公園に行く程度です、毎日行っています。用事の無い時はなるべく会合に参加しようと思います。(福祉委員・女性・70代以上)
- ◆児童館で子供が遊んでいる所で高齢者も同席でき、一緒にふれあえる場がもてるとお互い楽しい思いができると思っています…。保育園などの子供施設と高齢者施設がもっと交流できると…いいなと思っています。(福祉委員・女性・50代)

(13) 障害者ニーズ

- ◆民生委員や福祉委員をしたことのない一般の人達の認知症や障害者への理解が全然足らなくて影でこそこそ悪口(差別的)じみた事を言っているのが気になります。もっと理解してもらえないものかといつも考えています。(民生委員児童委員)
- ◆それぞれに合った弱者への接し方の具体的なマニュアルがあるとよいと思います。いろいろな障害の方との交流などでも、どのように接したら一番いいのか迷って、戸惑ってしまうため。(ボランティア活動者・女性・60代)

(14) 教育ニーズ

- ◆パソコン等の OA 関連のサポート（福祉委員・男性・50代）

(15) 相談窓口

- ◆小学生・中学生の福祉実践教室を確実に実施し、公開してもらいたい。小学生・中学生が実際に街に出てバリアフリー化してあるかどうかなど、体験してもらいたい。地域福祉の貴重な体験を中学生に体験させたい。（民生委員児童委員）
- ◆人に優しい親切な心を養うことが子供の頃から大切な事と思います。両親の教育、学校での教育も大事な事と思います。（民生委員児童委員）
- ◆市役所、社協よりの情報提供を望む。社協職員の模範活動を示されたい。
- ◆町内において誰が何を困っているのか。誰がどんなことを市、町内にしてほしいのか、情報が無いので、関係団体でつぶさに調査してほしい。支援者としては情報に基づいて活動ができるのではないかな。
- ◆地域福祉委員（構成員）の意識が希薄と思われる。リーダー次第で変わると思うが、相互の情報交換、提供の場が必要と思う。
- ◆福祉活動を進める中で、個人情報の保護がネックとなりブレーキになる。
- ◆地域福祉活動例情報の提供
- ◆住民に福祉サポート情報の提供を促す。
- ◆福祉活動を進めていくための広報は、すべて町内会回覧により行っているが、町内会未加入世帯には知らせることができない。又、5月に行っている社協会員募集による寄付金募金も、町内会を通して行っているのに、未加入世帯には、募金活動は行っていない。しかし、サロン会等の福祉活動は、加入、未加入の区別なしで住民全員が対象となっている。これでは、町内会加入者に不公平感を生じさせている。市の住民登録者は、全て町内会加入を義務化しなければ、全ての行政施策は末端まで浸透しないのではないかな。
- ◆まわりでは福祉のつもりでも当人はありがた迷惑がっている感がみられるのが気になる。困っていたら声をあげられる、情報を出して下さるとありがたいです。
- ◆市、福祉課、警察署等からの情報、指導方々の提供（高齢者への）

- ◆色々な制度があるのに皆さんに情報が行き届いていないと思います。パンフレットが沢山あっても本当に知ってもらいたい人に届いていないと思います。福祉委員としてももっと地域の方々に寄り添っていかなくてはいけないと反省しております、これからの目標にしていきたいです。
- ◆福祉会の役を受けるまでは、本当にこの活動を知りませんでした。町内からの補助金も出ているのに回覧も見たことが有りませんでした。もっと広く町内に知ってもらう事、私の町内では女性参加者のみです（福祉委員も含めて）活動内容も食事会を中心にあまり変化が有りません、会場も都合により限られる事しか出来ません。他の町内では軽い運動も出来るところもあるようです。雨天の時の送り迎えも考える事が有ります（福祉会の人個人の車を使用）気に付くことは多いですが、福祉活動意識を小さな子どもを含め底上げし、ある程度の支え合いを地域で担うこと、時間はかかりますが、皆に知ってもらうことからだと思います。独居の高齢者の見守り訪問でも年齢だけで伺うのではなく、困っている人に十分に時間をかけられたらと思います。
- ◆福祉活動の必要性は、地域によって考え方や行動に置いても異なることがあると思われる。市としての基本的な方向は同じでも、細部についての行動は市と地域住民とが協力し合って進めることが大事であり、地域としては、小学校区単位が望ましいと思うが、内容によっては中学校区単位でも、市の専従担当者と地域の活動者が密に情報を交換協力しながら、行動、進めていくことが、地域住民に地域福祉の必要性を認識し広げられる。福祉のまちづくりに進んでいく第一歩となるのではないのでしょうか？
- ◆現在の福祉活動が本当に福祉につながっているか？（もっと充実した福祉活動をするべきと思うが、これ以上活動（時間）が増えると福祉会の役員のみ手がいなくなる。又、活動中の加害、被害のリスクが高まる。個人情報保護法に阻まれ、福祉を必要とする人、必要とする福祉活動の把握が難しい。老人会も元気な老人の集団であり、ひきこもり老人や病弱老人等福祉を必要とする老人の情報を得る事が難しい。）結局は町内福祉会の活動は”無より有か”の考えで上面だけの活動で終わり、有意性をあまり感じていない。
- ◆自分の事しか出来ない人など、福祉の事を相談出来る様にする方法が分かれば良いと思う。（福祉委員・男性・70代以上）
- ◆相談したいと思ったとき、どこに相談すればいいか、そして、話しやすい、入っていきやすい場所であることが、第一歩だと思います。（福祉委員・女性・40代）
- ◆形式ばったアンケートを集めるより、みんなが気楽に集まって喋ったり相談できる場所をつくって下さると良いのにとと思います。（ボランティア活動者・女性・60代）

(16) 情報

- ◆お年寄りの独り暮らしや、新生児子育て家庭等、民生委員を受けて、地域のお手伝いをしようと前向きに思っていました。あと一步踏み込みたくても、結局最後は、個人情報等々で教えてもらえず、独居老人も担当の委員以外は名前も教えてもらえず、やる気も萎えてしまいます。もう少し民生委員くらいには地域の個人名位全体的に情報を流して欲しいと思った時が多々ありました。地域全体で見守るとか、民生委員と一緒にやりがいを持てるような方法が無いものでしょうか。守秘義務で縛られ過ぎで、活動も委縮してしまいました。(民生委員児童委員)
- ◆個人情報の問題もある事は承知していますが、行政からの民生委員に対する情報をもっと増やして欲しい。転入者の連絡(障害の有無等)障害者のリスト等、民生委員の活動上、必要な情報が少ないと感じています。(民生委員児童委員)
- ◆具体的に活動している事例紹介。全国例、県内例、市内例。(民生委員児童委員)
- ◆町内会の集会所、公民館などの場所へ福祉協議会の方々が一般の方にお話ししたいような事が有りましたら是非回覧等で送ってほしいです。(ボランティア活動者・女性・70代以上)
- ◆年間を通じて社協との連携、情報の交換がほとんどない。もう少し指導育成、アドバイスを欲しい。(ボランティア活動者・男性・70代以上)
- ◆すでに町内会、老人会、子ども会、ふれあいサロンなどが存在する中で福祉ができてどのように活動していったのか理解することができません。福祉会のありかたは一体なんですか。混乱します。一度、福祉会の活動とかありかたなどを説明してほしいと思います。(ボランティア活動者・女性・60代)
- ◆町内会ごとに福祉に関する説明会の開催(ボランティア活動者・女性・60代)
- ◆研修会などになかなか参加ができませんが、できる限り参加したいと思いますので、情報提供をお願いします。(ボランティア活動者・男性・60代)
- ◆毎年2月に開催される子供会大会の主旨がよくわからない。何の為、誰の為にやっているのか、無理やりやっている感があり、不満。回数を重ねたいだけの会なら、やらない方がいい。ステージでダンスを披露してくれるグループがいますが、かえって、そういう習い事をしている団体がそれぞれこういう活動をしていますというのを広める場があってもよいと思う。スポーツ・ダンス・習字・音楽・絵など。子供会は子供会をやっているだけで、精一杯です。子供会の会長だけ集まって、年間どういう活動をしたのか情報交換するだけでいいです。どの行事をどう運営し失敗談など聞きたい。(ボランティア活動者・女性・40代)

- ◆各課で管理している組織が、横につながっておらず、豊川市で団体を一元に管理して、市民からのニーズに応えられるような情報発信（楽しく、面白く）して、多くの市民が社会活動に興味を持てるようにしてほしい。現状は教育委員会等団体、福祉等団体、国際交流等団体とバラバラになっており、統一性が全くないので、災害時の活動につなげられない。市全体で管理し、それから各課で分けて活動につなげることを期待します。（ボランティア活動者・男性・70代以上）

(17) 生活環境

- ◆介護高齢課内の横の連絡を密にしてください。ひとり暮らしの高齢者異動報告書を提出しているのに災害時要援護者の異動の有無を問われて、何故と不審に思いました。（民生委員児童委員）
- ◆地域の福祉に関しては、福祉単独で考えるのではなく、防災とセットで考えた方が良いのではないかと思います。（福祉委員・女性・60代）
- ◆防災無線で行方不明者の連絡が時々あるが、これからの時期、特に命に関わる事があると思われます。行方不明が発覚してからの放送に至る間での時間短縮が必須のように思えます。その為の手続きの簡略化等を検討すべきでは。（福祉委員・男性・60代）
- ◆退職後、16年1時間7000歩歩き続けております。当初はたった一人で四季の花々、青い空、白い雲を独占して贅沢な散歩道でした。それから16年、梅園の木は265本にもなり、土日祝日は裏も表も車が駐車場からはみ出したり、バスで乗り付けるグループもあります。陽気が良くなると家族連れがレジャーマットやテントを持ってき楽しんで見えます。どれほど多くの方々がぎょぎょランドでアニアニまあるで、水辺の広場で昆虫広場で楽しんでいることでしょう。施設の方々も介護の人と一緒に桜を花ショウブを山々の緑を眺めにいらっしゃいます。あれだけ大勢の家族連れが一か所に集まって楽しんでいる所を他に知りません。16年間公園での事故の話は何ったこともありません。公園を開発された皆様の先見の明に敬服です。80歳の元氣と数知れぬ四季の美しさをいただいております。サッカー場も綺麗になって評判です。最高の福祉施設だと思っていつも感謝いたしております。（ボランティア活動者・男性・70代以上）

(18) 交通・交通マナー

- ◆各町内には市営住宅が有り、そこには高齢者のひとり暮らしの方や、生活困窮者が生活していますが、病気になったり、自分の健康について不安を持っている人が多い

です。しかし、病院に行くには足が無い、タクシーを使用するとタクシー料金が高く、コミュニティバスを使用するにはバス停までかなり歩かなければならない。故に、病院に行くのを我慢し、健康を害している人が多い。今後高齢化が進むと、病院に行く手段、銀行に行く手段、郵便局に行く手段が足りない。市営住宅の近くには町内の集会所があると思う。そこを利用して高齢者の定期的健康診断を行って欲しいし、集合住宅のあるところにコミュニティバスが定時刻に運行し、もっと細かく時間を設定して欲しい。(民生委員児童委員)

- ◆最近特に高齢者の車の事故が多いように思います。しかし車を生活の一部だとしている人たちにとって簡単に車は手放せないのが現状です。車をやめ、自転車にも乗れない人々が買い物、病院等へ行ける手段をもう少し真剣に考えた方がいい様に思えます。豊川でも市内循環バスが走っていますが、1日に数本ではまだ心もとないように思います。(民生委員児童委員)
- ◆道路の整備(街路灯をLEDに変えて夜明るくする)歩行者専用道路を拡充する。(福祉委員・男性・60代)
- ◆コミュニティバスの運行計画を是非進めてください。(福祉委員・女性・70代以上)
- ◆障害者や弱者、子育て中であっても、地域福祉にしてほしい内容がどれくらいピックアップされていてニーズに込えられているのか。現在の豊川市において道路にしても特に歩道と車との段差が。車いす、ベビーカーなど、高齢者はとても困っている。介護者にしてもだ。(福祉委員・女性・60代)
- ◆コミュニティバスは、本数と時間の都合でなかなか利用とまでは無理が多い。一人暮らしの私は、車を家に置いて旅に出かけたりするときなど、タクシーでなく気軽にお願ひできる地域の「ワンコインドライバー」がいてくれるとうれしいです。車に乗らない人の近隣へのお出かけ、病院、買い物など、生活支援できると、車に乗れなくなる高齢者も坂のある駅から遠い住まいから知らない土地に引っ越し生活するさみしさも軽減できる。(福祉委員・女性・60代)
- ◆極具体的な案件で申し訳ありませんが、バリアフリーが損なわれている場所について提案させて下さい。上長山町地内光陽製菓の前の道路は約400m西に障害者支援施設愛厚希会の里、愛知障害者職業能力開発校があり、加えて一宮中学校の通学路です。その道路に安全な歩行者帯がありません。車道と歩道の間最大10cmの段差があり、歩道は幅60cmの側溝のフタの上、更に歩道をガードするものは無く、ガードレールは歩道の外です。その施設に在住する障害者にとって一番近いコンビニ、歯医者、レストランはこの道を通ります。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆豊川市コミュニティバスの充実を。免許返納者への還元策を。他都市と比べ貧弱である。(福祉委員・男性・70代以上)

- ◆地域バスの回数はもう少し増えるといい。後期高齢者用の代金を考えて欲しい。あまり利用されていないので、もったいないと常々思っている。(福祉委員・女性・70代以上)
- ◆車の運転が出来なくなるので不自由である。どこにも出られない。介護タクシーの普及を活発に取り組んで欲しい。(低料金か無料)一人生活者が増えるので、グループホームなど、安心して身を預けられる施設の充実を願っている。今現在、入所施設が一杯との事ですが、老化は思っているほど遠くありません。すぐ全身マヒにつながり、動けなくなってしまいます。是非受け入れ体制の充実をお願いします。年金の範囲内で。(福祉委員・女性・70代以上)

(19) 生活安全

- ◆私の町には自主防災会や自警団もありません。一人暮らしの高齢者が今までに2人命を亡くされました。(ボランティア活動者・女性・70代以上)
- ◆先日、老人会の集まりにおいて感じたことですが、全国的な社会問題になっている、オレオレ詐欺に類似したのですが、個人の携帯に次のような文章「有料画像の閲覧記録有り、料金発生しており、料金の振り込みなき場合は不動産を差し押さえ設定する」といった内容。当人は身に覚えのないものの差し押さえ設定に不安を強く覚え、心配しているとのこと。その人は、元県の職員で分別のある人格者です。そんな人まで心配するのですから、騙される人もいるかと思うと、他人事とも思えず、怒りを感じます。従って、このような心配を防止、犯罪に巻き込まれないような注意喚起をする。チラシ案内を市民に年1～2回ほど、配布してもらいたいと思います。その人と同じ内容が自分の携帯にも入っていたので、あえて記入致しました。(ボランティア活動者・男性・60代)

(20) 職員

- ◆何でも相談員を有料(給料あり)で地域でひとり確保。相談員は必要があれば、関係機関を紹介する。(民生委員児童委員)
- ◆地域福祉の組織と市役所、県、国、そして町内会と自分、いろいろな役回り、様々な奉仕活動。全体の中で自分の立ち位置が不明確。よって地域参加型の組織図を作成し、住民の理解を。一度すべてをシンプル化して、横との各種団体との連携も強化し、わかりやすくし、余分な事はなくす。そうすればもっとクリエイティブなアイデアある活動が可能かも。(福祉委員・男性・60代)
- ◆今や高齢化社会となっていて働いている人は多く、体が動く限り少しでも収入を得

て生きていくことはとても生きがいを感じる、何と言っても現役の時に身についた収入を得ることが一番生きがいを得て健康にもつながると思っている。だから、現役をしりぞいたと言ったから役を押し付けないでほしい。福祉事業を行うのだったらあなたたち福祉にたずさわる職員が行ってほしい。どうか押し付けないでください。(福祉委員・男性・60代)

◆福祉委員が高齢者の為、バトンタッチができない、若い人のなり手がいない。(福祉委員・女性・60代)

◆今後福祉活動推進する中で、我々も高齢化し将来への後継者の育成が困難かも。(福祉委員・男性・70代以上)

(21) 公共施設

◆学校の給食のような食事が出来る所があり、そして仲間とふれあえる趣味や運動が出来る場所があったらいいなと思います。おまけにお風呂もあったら。昔の銭湯の様に。(民生委員児童委員)

◆気軽に行ける喫茶店があるといい。コーヒー、一杯 300 円から。一時間仕事をする
と一杯無料かコーヒー券。仕事の内容は注文や片付傾聴や話し相手、なんでも OK。
登録制で、時間管理はタイムカードで自己申告。市役所の方や福祉協議会の方が週
3 日一時間でもいただければ、生の声が直接気軽に聞けるかも。とにかく、今
の高齢者は元気な方が多いので、社会の役に立てる場があるとよいと感じます。若
い親も子供を連れてこられる、三世代触れ合いの場。理想です。空き家利用もでき
るといいです。(福祉委員・女性・50代)

◆高齢者がこれからもっと増えるために公園などを増やしていただきたいと思います。
(福祉委員・女性・60代)

(22) 行政ニーズ

◆少子高齢化が今後益々進んでいくと思われる日本では、重要な課題だと思います。
冠婚葬祭お儀式をとっても簡略化が進み、昭和の頃は近所の付き合いが当たり前だ
ったことがなくなり、隣の家のこと知らないで過ぎてしまう昨今です。寂しいと
いえば寂しいし、必要最低限でしがらみがなくお金もかからず簡単でいいと言えば
それもそうかもと思いますが、関係を切っていく傾向の世の中の流れにあって、自
主的な地域福祉を進めることは至難の業だと思われま。支援を必要とするひとた
ちへの声掛け、見守り、手助けは個別の対応が必要であり、長期にわたる場合が多
いと思います。行政の方での個別対応が可能なシステム作りが今後ますます求めら

れると思います。(民生委員児童委員)

- ◆個人情報保護の垣根の高さを低くして、民生委員、各行政が情報を共有することが必要だと思います。我々民生委員や行政には守秘義務があるだけで、現行の多職種による地域ケア会議をもっと頻繁に行っても良いのではないのでしょうか？(民生委員児童委員)
- ◆赤い羽根共同募金の受配については問題がある。赤い羽根の募金の理念からすれば、視察研修からそれぞれの研修会費含めて1,100千円の受配計画であるが、理念を逸脱した使用である。我々は事業所に対して赤い羽根の理念を基にお願いして集金してきた。税金の徴収ではない。この受配計画は税金を使う考え方であり、協力してくれている事業所に対する背信行為である。本来の基本理念にもどり、共同募金の使い方を再考すべきである。至急改善すべきである。目を覚ませ。新城市等奥三河の市町村に比べて豊川市は予算が無いとは言っているが、もっと現実を見つめて節約すべきことが沢山ある。恵まれ過ぎている。(民生委員児童委員)
- ◆「活動に必要な情報や専門知識」行政の方でも答える事の出来る方、やはりわかり易く専門的に(例を取り上げての説明)それくらいの配慮が欲しい。行政と民生がもっと一体になって欲しい。(民生委員児童委員)
- ◆嫁いで50年、お祭りが年に春夏2回もあるのはチョットと思うときもありました。町民体育祭もなくなり、老人クラブも役員不足で先行きが危ぶまれるようなこの頃です。青年団も減少し今年が最後かもしれません(花火大会)とのこと、今となつては良い時代だったとの思いと失われていく寂しさを感じています。老人クラブやその他の会とつくものを無くさないような支援を望みます。金銭的や特に書類等では簡素化で多くの方が役員を受けれるような仕組みを希望します。(福祉委員・女性・70代以上)
- ◆社会福祉協議会は役員(福祉委員)に頼って丸投げをしている感じがある。何とかをお願いします、何とかをいつまでお願いしますと言うような感じで委員も一般住民ですので忙しくて大変です。(福祉委員・女性・70代以上)
- ◆町内会、社会福祉協議会などの役員の高齢化や、委員の選出に大変苦勞している状況を市や社協はもっと理解してほしい。地域福祉活動にも限界があると思います。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆連区単位の福祉活動推進委員会は、その活動の実態が乏しい。町内会単位なりに再編成すべきではないか。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆関連団体が単体で活動するのではなく、横の連携又は協同して話し合いの場所を設営する事が大切だと思う。今の所各団体個々に活動している様に思える。(福祉委

員・男性・70代以上)

- ◆町内会の記述を計画で見ると、「町内会費確保」に重点を置いている記述が気にかかる。町内会の役割の重要性に力点があるとは言えない記述が目立つ。類似市に比較して淋しい市(社協ではない)の在り方であると思う。(ボランティア活動者・男性・70代以上)
- ◆地域における難しい福祉課題の解決に向けて、市役所・社会福祉協議会・関係団体・地域住民などが連携して活動するスタイルをつくりあげる必要があります。高齢者・障害者・ゴミ屋敷等々、様々な問題に共通の方策を具体化する事が求められていると思います。(ボランティア活動者・男性・70代以上)
- ◆市役所と社会福祉協議会で地域格差のない子供、老人が安心して暮らせるまちづくりを進めてください。(ボランティア活動者・女性・70代以上)
- ◆道路のごみのポイ捨てが気になります。道路の美化に気を付けてほしい。何とか市をあげてならないかと思う。(ボランティア活動者・女性・60代)
- ◆近年一人暮らしの方の生活の見守りや外出する際の交通の不便などよく聞きます。コミュニティバスに乗ると「もう少し本数があるといいのに」とか地域の通っていない所が多く、不便だという声もあります。又、高齢者の自動車事故も多く、巡回バスの充実を考えていただきたい。安心して保健センターへ行けるとよいと思っています。(ボランティア活動者・女性・70代以上)

(23) 所感その他

- ◆自分が役をもらって初めて、地域に色々な役の方がいらっしゃるのを知りました。民生委員と福祉委員との仕事の違いや連携など交流する機会がもっとあれば情報もふえ、仕事も軽減されることもあるように思います。縦割りでなく横のつながりが必要だと感じています。(民生委員児童委員)
- ◆町内会の方、何も知らないので、役員に対しての勉強が必要だと思う。(民生委員児童委員)
- ◆福祉会活動に積極的に資金援助や運営手法等のアドバイスをを行い、活動部隊としての存在感を高めるようにしたい。(民生委員児童委員)
- ◆町内のほうが福祉委員の仕事をわかっていないことがわかりました。活動日数が多いのに残念です。社会福祉協議会の係の方には感謝しています。(福祉委員・女性・60代)

- ◆各地区の神社にぜひお参りにきてください。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆仕事、子育てがすみ、親の見送りができ、やっと地域福祉に関心を持ち、活動に参加させていただくようになりました。家庭で介護が必要になれば、またしばらく参加できませんが、健康な今、社会とかかわれることは良いことと思っています。まだどのようなことが必要か、大切か何もわからないまま過ごしています。良いアイデアが浮かばずすみません。地域の人皆さんにかかわってもらいたいと改めて思いますが、家庭の事情も多くあり、難しいのが現実です。(福祉委員・女性・60代)
- ◆高齢化が進み、誰かが見守らなくてはいけない時代に入ってきています。福祉に対して安全、安心なまちづくり市としても力を入れてください。(福祉委員・男性・60代)
- ◆地域福祉にも範囲が広く、研修などを受けても浅くしかわからない。年度ごとに重点項目をあげ、最重点項目を深く地域の特徴で取り上げてはと思う。(福祉委員・男性・60代)
- ◆福祉委員となってからまだ知らない事が多くあり地域の中に入って考えていきたいと思えます。(福祉委員・女性・60代)
- ◆勉強不足の中で聞いてしまいますが、福祉とは何を福祉というのか、考え方、どのような行動を福祉というのか。そして、行政と福祉委員との行動範囲はどのように決めていくのか、よく解りません。福祉を受ける対象者は誰か。結局何もわかっていません。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆福祉委員を始めて丸3年になりますが、最初は恥ずかしくてやれなかったが少しずつ慣れて、今ではやりがいがあり充実した毎日です。これからも健康管理に注意して頑張ります。(福祉委員・男性・60代)
- ◆福祉活動のキャラクターやマスコットがあったらそれを利用して地域住民にアピールする機会があるとよいのでは。私もこの会に入って少しわかった程度ですから、住民の殆どの方が分かっていないのではないのでしょうか。(福祉委員・男性・70代以上)
- ◆福祉委員になり、認知症や防犯などの講習を受けました。大変役に立ついい講義でした。これからも続けてもらいたいです。また、一般の人も参加出来る機会があればよいです。(福祉委員・女性・50代)
- ◆我が市にささえあいセンターができたならぜひ参加してお手伝いしたいと思います。(福祉委員・女性・60代)

IV 調査票

IV 調査票

(1) 民生委員児童委員・主任児童委員

民生委員児童委員・主任児童委員の皆様へ

豊川市社会福祉協議会 地域福祉活動に関する活動者アンケート

地域福祉活動者の皆様には、日頃から豊川市の福祉活動の推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

現在、豊川市社会福祉協議会では地域の実情に即した地域福祉の推進をめざし、豊川市の『第3次地域福祉計画』と一体で『第4次地域福祉活動計画』の策定を予定しています。

この計画を策定するにあたり、市内に居住して地域福祉活動を実践されている方々を対象にアンケート調査を行い、皆様のご意見や地域で活動していく上での問題・課題の把握を行い、計画に反映させていただくことといたしました。

ご多用中とは存じますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成28年11月

社会福祉法人 豊川市社会福祉協議会
会長 伊藤 憲男
豊川市民生委員児童委員協議会
会長 西本 全秀

※本アンケートは民生委員児童委員・主任児童委員、福祉委員、ボランティアを兼務されている方は、右上の宛名の立場でそれぞれにご回答ください。

また、このアンケートはすべて統計的に処理しますので、回答された方が特定されることはございません。

【ご記入にあたってのお願い】

- このアンケートは、ご本人がご回答ください。ご本人が、記入が困難な場合は、ご家族の方などがご本人の意思を確認のうえご記入ください。
- 設問には、平成28年11月1日現在の内容でご回答ください。
- ご回答は、設問の案内にしたがって、該当する番号に○をつけてください。
- 調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**12月28日(水)**までにご投函ください。(切手不要)

お問い合わせ 社会福祉法人 豊川市社会福祉協議会 地域福祉課

TEL: (0533) 83-5211 (代)

FAX: (0533) 89-0662



アンケート用紙

問1 民生委員児童委員・主任児童委員としての1か月のおおよその活動日数を教えてください。
【○は1つだけ】

- | | | |
|-----------|-----------|---------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に2～3日 | 3. 週に1日 |
| 4. 月に2～3日 | 5. 月に1日 | 6. 2、3ヶ月に1日以下 |

問2 民生委員児童委員・主任児童委員の活動を通じて良かったことは何ですか。
【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 知識や見識が広がる | 2. 地域に貢献している |
| 3. 地域福祉について勉強になる | 4. 高齢者や障害者の理解が深まる |
| 5. 様々な人々と接することができる | 6. 仲間ができる |
| 7. 感謝される | |
| 8. その他 () | |

問3 民生委員児童委員・主任児童委員の活動について、どのように感じていますか。

① やりがい

【〇は1つだけ】

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 強く感じている | 2. 感じている |
| 3. あまり感じていない | 4. 感じていない |

② 負担感

【〇は1つだけ】

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 強く感じている | 2. 感じている |
| 3. あまり感じていない | 4. 感じていない |

問4 現在、民生委員児童委員・主任児童委員の活動をしている中で困っていることは何ですか。

【〇は5つまで】

1. 地域の付き合いが薄くなっている
2. 家族の理解がない
3. メンバーが定着しない
4. メンバーに世代・男女のかたよりがある
5. メンバーが高齢化してきている
6. 若い人が興味を持ちやすい活動ができていない
7. 若い人が参加しやすい活動ができていない
8. メンバーが仕事などで忙しく、活動できにくい
9. リーダーが育たない
10. やらされ感が強く、自発的な活動につながっていない
11. 他のグループや団体と交流する機会が少ない
12. 行政の理解や支援が足りない
13. 社会福祉協議会の理解や支援が足りない
14. 会議や活動の場所の確保に苦勞する
15. 活動資金が足りない
16. 活動に必要な情報や専門知識が不足している
17. 活動がマンネリ化してきている
18. 支援を必要とする人などの要求、希望に応えられないことがある
19. 支援を必要とする人などの情報が得にくい
20. 市民に情報提供する場や機会が少ない
21. 外部からの問い合わせや相談をいつでも受ける体制（連絡先、専従者）がない
22. その他（具体的に _____）
23. 特にない

問5 民生委員児童委員・主任児童委員の活動をする中で困ったときの相談相手について教えてください。 【〇は3つまで】

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1. 家族・親戚 | 2. 近所の人 |
| 3. 知人・友人 | 4. 同じ活動をしている仲間 |
| 5. 町内・自治会などの役員 | 6. 市役所 |
| 7. 保健センター | 8. 社会福祉協議会 |
| 9. ボランティア・市民活動センター | 10. 地域包括支援センター |
| 11. 民生委員児童委員・主任児童委員 | 12. 福祉委員 |
| 13. その他 () | |
| 14. どこに相談したらよいかわからない | |
| 15. 相談できる人はいない | |

問6 民生委員児童委員・主任児童委員の活動にあたり連携が必要と思われる他の組織団体は何ですか。 【〇は3つまで】

- | | | |
|---------------------|----------------|------------|
| 1. 町内会 | 2. 地域福祉活動推進委員会 | 3. 町内福祉会 |
| 4. 地区民生委員児童委員協議会 | | |
| 5. ボランティア団体 (具体的に) | | |
| 6. 老人クラブ | 7. 子ども会 | 8. 女性活動団体 |
| 9. 青年団 | 10. 自主防災会 | 11. 地域防犯会 |
| 12. 児童健全育成協議会 | 13. 消防団・自警団 | 14. 障害者団体 |
| 15. 医療機関 | 16. 学校 | 17. P T A |
| 18. 社会福祉施設 | 19. 市民活動団体 | 20. 商店・事業者 |
| 21. その他 () | | |

問7 民生委員児童委員・主任児童委員の活動をすすめていく上で、受けてみたい研修は何ですか。 【あてはまるものすべてに〇】

- | | | |
|---------------|------------------|---------------|
| 1. 相談援助の方法 | 2. 福祉制度、施設の解説 | 3. 保健、健康の知識 |
| 4. 地域福祉活動の進め方 | 5. 人権擁護、権利擁護 | 6. 福祉施策の動向等 |
| 7. 福祉施設等の見学 | 8. 地域懇談会の開催 | 9. 子育ての方法 |
| 10. 介護の方法 | 11. 介護予防 (認知症予防) | 12. 障害の理解を深める |
| 13. 防犯・防災 | 14. 消費者問題 | 15. 他の団体との交流 |
| 16. その他 () | | |

問8 民生委員児童委員・主任児童委員の活動を取り組みやすい区域について、どのようにお考えですか。 【〇は1つだけ】

- | | | |
|--------|----------------|---------|
| 1. 町内会 | 2. 小学校区 | 3. 中学校区 |
| 4. 連区 | 5. その他 (具体的に) | |

■ 民生委員児童委員・主任児童委員活動に限らず地域での様々な福祉活動についておたずねします。

問 9 様々な地域福祉活動を推進していく上で、豊川市社会福祉協議会に期待することは何ですか。 【〇は3つまで】

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 活動場所の確保 | 2. 活動資金の援助 |
| 3. 活動を支援する備品の貸出し | 4. 活動上の相談体制の充実 |
| 5. 福祉関係情報の提供 | 6. 各機関や団体等との連絡調整 |
| 7. 情報収集・発信への支援 | 8. 住民に向けた地域福祉活動の啓発 |
| 9. 地域での福祉学習活動への支援 | 10. 研修制度など人材面での支援 |
| 11. グループ、団体の情報交換や交流の機会の充実 | |
| 12. その他（具体的に | ） |
| 13. 特にない | |

問 10 様々な地域福祉活動を推進していく上で、豊川市に期待することは何ですか。

【〇は3つまで】

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 活動場所の確保 | 2. 活動資金の援助 |
| 3. 活動を支援する備品の貸出し | 4. 活動上の相談体制の充実 |
| 5. 福祉関係情報の提供 | 6. 各機関や団体等との連絡調整 |
| 7. 情報収集・発信への支援 | 8. 住民に向けた地域福祉活動の啓発 |
| 9. 地域での福祉学習活動への支援 | 10. 研修制度など人材面での支援 |
| 11. グループ、団体の情報交換や交流の機会の充実 | |
| 12. その他（具体的に | ） |
| 13. 特にない | |

問 11 地域にある様々な福祉活動に必要な情報を、どこから得ていますか。

【〇は3つまで】

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 活動メンバーから | 2. 関連団体間の交流会から |
| 3. 上位団体から | 4. 区・町内会・自治会などから |
| 5. 市役所から | 6. ボランティア・市民活動センターから |
| 7. 社会福祉協議会から | 8. 講習会・学習会から |
| 9. インターネットから | |
| 10. その他（ | ） |

問 1 2 様々な地域福祉活動を行う上で、地域住民の要望をどのように把握していますか。

【あてはまるものすべてに○】

1. 地域住民から直接聞く
2. 各種団体から直接聞く
3. アンケート調査などから
4. インターネットから
5. 市役所から
6. ボランティア・市民活動センターから
7. 社会福祉協議会から
8. 市役所や社会福祉協議会などが開催している各種事業において
9. その他 ()

問 1 3 誰もが安心して暮らしていくために、地域で特に重要なことは何だと思えますか。

【○は3つまで】

1. 見守りや安否確認
2. ボランティア・市民活動の充実
3. 福祉教育の充実
4. 福祉サービスの情報提供の充実
5. 子育て支援の充実
6. 高齢者支援の充実
7. 障害のある人への支援の充実
8. 医療の充実
9. 健康づくりや介護予防の充実
10. 生きがいづくり・社会参加の促進
11. 生涯学習や生涯スポーツの充実
12. 防災・防犯体制の充実
13. 道路や施設のバリアフリー化の推進
14. 相談体制の充実
15. 災害時の避難誘導・助け合い
16. 地域活動やボランティア活動に取り組む人材の育成
17. 福祉サービス利用者の苦情解決の仕組
18. 福祉サービスの質を評価するための仕組
19. 判断能力に支障がある人への日常生活支援の充実
20. 福祉施設の整備
21. その他 ()

問 1 4 地域福祉活動を社会福祉協議会・関係団体・市民と協働で進めるにあたって、どのようなことが特に必要だと思いますか。 【あてはまるものすべてに○】

1. 市役所・社会福祉協議会・地域活動団体などとの交流の機会の確保
2. 市役所と各種団体、市民との役割分担の明確化
3. 地域活動団体などとの連携体制の構築
4. 地域活動団体などと住民の協力による福祉活動の推進
5. 地域活動団体などと住民が連携した防犯・防災の体制づくり
6. 公的な福祉サービスとボランティア・市民活動団体が提供するサービスのネットワーク化
7. インターネットなど、さまざまな情報媒体を活用した情報提供の充実
8. 福祉教育の充実
9. 地域福祉活動に対する表彰制度の仕組み
10. ボランティア・市民活動団体の育成支援
11. 福祉とまちづくりの連携
12. その他 ()
13. 特にない
14. わからない

問 1 5 地域の中で特に支援が必要と思われる方はどんな方々ですか。 【○は3つまで】

1. ひとり暮らしの高齢者
2. 高齢者のみの世帯
3. 障害者
4. 認知症の方
5. ひとり親家庭の方
6. 子育て中の方
7. 高齢者や障害者を介護している方
8. 不登校、ひきこもりの方
9. 低所得者
10. 外国人
11. その他 ()

問 1 6 民生委員児童委員・主任児童委員以外の地域での役割があれば教えてください。

【あてはまるものすべてに○】

1. 町内会役員
2. ~~民生委員児童委員・主任児童委員~~
3. 福祉委員
4. ボランティア団体 (具体的に)
5. 老人クラブ
6. 子ども会
7. 女性活動団体
8. 自主防災会
9. 児童健全育成協議会
10. 青年団
11. 消防団・自警団
12. 市民活動団体
13. 障害者団体
14. P T A
15. その他 ()

(2) 福祉委員

福祉委員の皆様へ

豊川市社会福祉協議会 地域福祉活動に関する活動者アンケート

地域福祉活動者の皆様には、日頃から豊川市の福祉活動の推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

現在、豊川市社会福祉協議会では地域の実情に即した地域福祉の推進をめざし、豊川市の『第3次地域福祉計画』と一体で『第4次地域福祉活動計画』の策定を予定しています。

この計画を策定するにあたり、市内に居住して地域福祉活動を実践されている方々を対象にアンケート調査を行い、皆様のご意見や地域で活動していく上での問題・課題の把握を行い、計画に反映させていただくことといたしました。

ご多用中とは存じますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成28年12月

社会福祉法人 豊川市社会福祉協議会
会長 伊藤 憲男

※本アンケートは民生委員児童委員・主任児童委員、福祉委員、ボランティアを兼務されている方は、右上の宛名の立場でそれぞれにご回答ください。

また、このアンケートはすべて統計的に処理しますので、回答された方が特定されることはございません。

【ご記入にあたってのお願い】

- このアンケートは、ご本人がご回答ください。ご本人が、記入が困難な場合は、ご家族の方などがご本人の意思を確認のうえご記入ください。
- 設問には、平成28年12月1日現在の内容でご回答ください。
- ご回答は、設問の案内にしたがって、該当する番号に○をつけてください。
- 調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**1月31日(火)**までにご投函ください。(切手不要)

お問い合わせ

社会福祉法人 豊川市社会福祉協議会 地域福祉課

TEL: (0533) 83-5211 (代)

FAX: (0533) 89-0662



問1 性別は、どちらですか。 【○は1つだけ】

1. 男性 2. 女性

問2 年齢について教えてください。 【○は1つだけ】

1. 20代 2. 30代 3. 40代
4. 50代 5. 60代 6. 70代以上

問3 住んでいる地域（小学校区）はどちらですか。 【○は1つだけ】
わからない場合は、町名をお書きください。

1. 豊川 2. 桜木 3. 豊 4. 東部 5. 牛久保
6. 中部 7. 天王 8. 八南 9. 平尾 10. 千両
11. 国府 12. 御油 13. 代田 14. 桜町 15. 金屋
16. 三蔵子 17. 一宮東部 18. 一宮西部 19. 一宮南部 20. 赤坂
21. 長沢 22. 萩 23. 御津北部 24. 御津南部 25. 小坂井東
26. 小坂井西 27. わからない（町名を記入： ）

問4 現在の所に何年ぐらいお住まいですか。 【○は1つだけ】

1. 1年未満 2. 1～5年未満 3. 5～10年未満
4. 10～20年未満 5. 20年以上 6. わからない

問5 福祉委員を何年続けていますか。 【○は1つだけ】

1. 0～2年 2. 3～4年 3. 5～9年
4. 10～14年 5. 15～19年

問6 福祉委員としての1か月のおおよその活動日数を教えてください。 【○は1つだけ】

1. ほぼ毎日 2. 週に2～3日 3. 週に1日
4. 月に2～3日 5. 月に1日 6. 2、3ヶ月に1日以下

問7 福祉委員の活動を通じて良かったことは何ですか。 【あてはまるものすべてに○】

1. 知識や見識が広がる 2. 地域に貢献している
3. 地域福祉について勉強になる 4. 高齢者や障害者の理解が深まる
5. 様々な人々と接することができる 6. 仲間ができる
7. 感謝される
8. その他（ ）

問8 福祉委員の活動について、どのように感じていますか。

① やりがい

【〇は1つだけ】

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 強く感じている | 2. 感じている |
| 3. あまり感じていない | 4. 感じていない |

② 負担感

【〇は1つだけ】

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 強く感じている | 2. 感じている |
| 3. あまり感じていない | 4. 感じていない |

問9 現在、福祉委員の活動をしている中で困っていることは何ですか。

【〇は5つまで】

1. 地域の付き合いが薄くなっている
2. 家族の理解がない
3. メンバーが定着しない
4. メンバーに世代・男女のかたよりがある
5. メンバーが高齢化してきている
6. 若い人が興味を持ちやすい活動ができていない
7. 若い人が参加しやすい活動ができていない
8. メンバーが仕事などで忙しく、活動できにくい
9. リーダーが育たない
10. やらされ感が強く、自発的な活動につながっていない
11. 他のグループや団体と交流する機会が少ない
12. 行政の理解や支援が足りない
13. 社会福祉協議会の理解や支援が足りない
14. 会議や活動の場所の確保に苦勞する
15. 活動資金が足りない
16. 活動に必要な情報や専門知識が不足している
17. 活動がマンネリ化してきている
18. 支援を必要とする人などの要求、希望に応えられないことがある
19. 支援を必要とする人などの情報が得にくい
20. 市民に情報提供する場や機会が少ない
21. 外部からの問い合わせや相談をいつでも受ける体制（連絡先、専従者）がない
22. その他（具体的に)
23. 特にない

問 1 0 福祉委員の活動をする中で困ったときの相談相手について教えてください。

【〇は3つまで】

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 家族・親戚 | 2. 近所の人 |
| 3. 知人・友人 | 4. 同じ活動をしている仲間 |
| 5. 町内・自治会などの役員 | 6. 市役所 |
| 7. 保健センター | 8. 社会福祉協議会 |
| 9. ボランティア・市民活動センター | 10. 地域包括支援センター |
| 11. 民生委員児童委員・主任児童委員 | 12. 福祉委員 |
| 13. その他 () | |
| 14. どこに相談したらよいかわからない | |
| 15. 相談できる人はいない | |

問 1 1 福祉委員の活動にあたり連携が必要と思われる他の組織団体は何ですか。

【〇は3つまで】

- | | | |
|---------------------|----------------|------------|
| 1. 町内会 | 2. 地域福祉活動推進委員会 | 3. 町内福祉会 |
| 4. 地区民生委員児童委員協議会 | | |
| 5. ボランティア団体 (具体的に) | | |
| 6. 老人クラブ | 7. 子ども会 | 8. 女性活動団体 |
| 9. 青年団 | 10. 自主防災会 | 11. 地域防犯会 |
| 12. 児童健全育成協議会 | 13. 消防団・自警団 | 14. 障害者団体 |
| 15. 医療機関 | 16. 学校 | 17. P T A |
| 18. 社会福祉施設 | 19. 市民活動団体 | 20. 商店・事業者 |
| 21. その他 () | | |

問 1 2 福祉委員の活動をすすめていく上で、受けてみたい研修は何ですか。

【あてはまるものすべてに〇】

- | | | |
|---------------|------------------|---------------|
| 1. 相談援助の方法 | 2. 福祉制度、施設の解説 | 3. 保健、健康の知識 |
| 4. 地域福祉活動の進め方 | 5. 人権擁護、権利擁護 | 6. 福祉施策の動向等 |
| 7. 福祉施設等の見学 | 8. 地域懇談会の開催 | 9. 子育ての方法 |
| 10. 介護の方法 | 11. 介護予防 (認知症予防) | 12. 障害の理解を深める |
| 13. 防犯・防災 | 14. 消費者問題 | 15. 他の団体との交流 |
| 16. その他 () | | |

問 1 3 福祉委員の活動を取り組みやすい区域について、どのようにお考えですか。

【〇は1つだけ】

- | | | |
|--------|----------------|---------|
| 1. 町内会 | 2. 小学校区 | 3. 中学校区 |
| 4. 連区 | 5. その他 (具体的に) | |

■福祉委員活動に限らず地域での様々な福祉活動について
おたずねします。

問 1 4 様々な地域福祉活動を推進していく上で、豊川市社会福祉協議会に期待することは何
ですか。 【〇は3つまで】

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 活動場所の確保 | 2. 活動資金の援助 |
| 3. 活動を支援する備品の貸出し | 4. 活動上の相談体制の充実 |
| 5. 福祉関係情報の提供 | 6. 各機関や団体等との連絡調整 |
| 7. 情報収集・発信への支援 | 8. 住民に向けた地域福祉活動の啓発 |
| 9. 地域での福祉学習活動への支援 | 10. 研修制度など人材面での支援 |
| 11. グループ、団体の情報交換や交流の機会の充実 | |
| 12. その他（具体的に | ） |
| 13. 特にない | |

問 1 5 様々な地域福祉活動を推進していく上で、豊川市に期待することは何ですか。

【〇は3つまで】

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 活動場所の確保 | 2. 活動資金の援助 |
| 3. 活動を支援する備品の貸出し | 4. 活動上の相談体制の充実 |
| 5. 福祉関係情報の提供 | 6. 各機関や団体等との連絡調整 |
| 7. 情報収集・発信への支援 | 8. 住民に向けた地域福祉活動の啓発 |
| 9. 地域での福祉学習活動への支援 | 10. 研修制度など人材面での支援 |
| 11. グループ、団体の情報交換や交流の機会の充実 | |
| 12. その他（具体的に | ） |
| 13. 特にない | |

問 1 6 地域にある様々な福祉活動に必要な情報を、どこから得ていますか。

【〇は3つまで】

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 活動メンバーから | 2. 関連団体間の交流会から |
| 3. 上位団体から | 4. 区・町内会・自治会などから |
| 5. 市役所から | 6. ボランティア・市民活動センターから |
| 7. 社会福祉協議会から | 8. 講習会・学習会から |
| 9. インターネットから | |
| 10. その他（ | ） |

問 1 7 様々な地域福祉活動を行う上で、地域住民の要望をどのように把握していますか。

【あてはまるものすべてに○】

1. 地域住民から直接聞く
2. 各種団体から直接聞く
3. アンケート調査などから
4. インターネットから
5. 市役所から
6. ボランティア・市民活動センターから
7. 社会福祉協議会から
8. 市役所や社会福祉協議会などが開催している各種事業において
9. その他 ()

問 1 8 誰もが安心して暮らしていくために、地域で特に重要なことは何だと思えますか。

【○は3つまで】

1. 見守りや安否確認
2. ボランティア・市民活動の充実
3. 福祉教育の充実
4. 福祉サービスの情報提供の充実
5. 子育て支援の充実
6. 高齢者支援の充実
7. 障害のある人への支援の充実
8. 医療の充実
9. 健康づくりや介護予防の充実
10. 生きがいづくり・社会参加の促進
11. 生涯学習や生涯スポーツの充実
12. 防災・防犯体制の充実
13. 道路や施設のバリアフリー化の推進
14. 相談体制の充実
15. 災害時の避難誘導・助け合い
16. 地域活動やボランティア活動に取り組む人材の育成
17. 福祉サービス利用者の苦情解決の仕組
18. 福祉サービスの質を評価するための仕組
19. 判断能力に支障がある人への日常生活支援の充実
20. 福祉施設の整備
21. その他 ()

問 1 9 地域福祉活動を社会福祉協議会・関係団体・市民と協働で進めるにあたって、どのようなことが特に必要だと思いますか。 【あてはまるものすべてに○】

1. 市役所・社会福祉協議会・地域活動団体などとの交流の機会の確保
2. 市役所と各種団体、市民との役割分担の明確化
3. 地域活動団体などとの連携体制の構築
4. 地域活動団体などと住民の協力による福祉活動の推進
5. 地域活動団体などと住民が連携した防犯・防災の体制づくり
6. 公的な福祉サービスとボランティア・市民活動団体が提供するサービスのネットワーク化
7. インターネットなど、さまざまな情報媒体を活用した情報提供の充実
8. 福祉教育の充実
9. 地域福祉活動に対する表彰制度の仕組み
10. ボランティア・市民活動団体の育成支援
11. 福祉とまちづくりの連携
12. その他 ()
13. 特にない
14. わからない

問 2 0 地域の中で特に支援が必要と思われる方はどんな方々ですか。 【○は3つまで】

1. ひとり暮らしの高齢者
2. 高齢者のみの世帯
3. 障害者
4. 認知症の方
5. ひとり親家庭の方
6. 子育て中の方
7. 高齢者や障害者を介護している方
8. 不登校、ひきこもりの方
9. 低所得者
10. 外国人
11. その他 ()

問 2 1 福祉委員以外の地域での役割があれば教えてください。

【あてはまるものすべてに○】

1. 町内会役員
2. 民生委員児童委員・主任児童委員
3. ~~福祉委員~~
4. ボランティア団体 (具体的に)
5. 老人クラブ
6. 子ども会
7. 女性活動団体
8. 自主防災会
9. 児童健全育成協議会
10. 青年団
11. 消防団・自警団
12. 市民活動団体
13. 障害者団体
14. P T A
15. その他 ()

(3) ボランティア活動者

ボランティア活動者の皆様へ

豊川市社会福祉協議会 地域福祉活動に関する活動者アンケート

地域福祉活動者の皆様には、日頃から豊川市の福祉活動の推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

現在、豊川市社会福祉協議会では地域の実情に即した地域福祉の推進をめざし、豊川市の『第3次地域福祉計画』と一体で『第4次地域福祉活動計画』の策定を予定しています。

この計画を策定するにあたり、市内に居住して地域福祉活動を実践されている方々を対象にアンケート調査を行い、皆様のご意見や地域で活動していく上での問題・課題の把握を行い、計画に反映させていただくことといたしました。

ご多用中とは存じますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成 28 年 12 月

社会福祉法人 豊川市社会福祉協議会
会長 伊藤 憲男

※本アンケートは民生委員児童委員・主任児童委員、福祉委員、ボランティアを兼務されている方は、右上の宛名の立場でそれぞれにご回答ください。

また、このアンケートはすべて統計的に処理しますので、回答された方が特定されることはございません。

【ご記入にあたってのお願い】

- このアンケートは、ご本人がご回答ください。ご本人が、記入が困難な場合は、ご家族の方などがご本人の意思を確認のうえご記入ください。
- 設問には、平成 28 年 12 月 1 日現在 の内容でご回答ください。
- ご回答は、設問の案内にしたがって、該当する番号に○をつけてください。
- 調査票は、同封の返信用封筒に入れて、1月31日(火)までにご投函ください。(切手不要)

お問い合わせ 社会福祉法人 豊川市社会福祉協議会 地域福祉課

TEL: (0533) 83-5211 (代)
FAX: (0533) 89-0662



問1 性別は、どちらですか。 【〇は1つだけ】
1. 男性 2. 女性

問2 年齢について教えてください。 【〇は1つだけ】
1. 20代 2. 30代 3. 40代
4. 50代 5. 60代 6. 70代以上

問3 住んでいる地域（小学校区）はどちらですか。 【〇は1つだけ】 わからない場合は、町名をお書きください。
1. 豊川 2. 桜木 3. 豊 4. 東部 5. 牛久保
6. 中部 7. 天王 8. 八南 9. 平尾 10. 千両
11. 国府 12. 御油 13. 代田 14. 桜町 15. 金屋
16. 三蔵子 17. 一宮東部 18. 一宮西部 19. 一宮南部 20. 赤坂
21. 長沢 22. 萩 23. 御津北部 24. 御津南部 25. 小坂井東
26. 小坂井西 27. わからない（町名を記入： ）

問4 現在の所に何年ぐらいお住まいですか。 【〇は1つだけ】
1. 1年未満 2. 1～5年未満 3. 5～10年未満
4. 10～20年未満 5. 20年以上 6. わからない

問5 ボランティア活動を何年続けていますか。 【〇は1つだけ】
1. 0～2年 2. 3～4年 3. 5～9年
4. 10～14年 5. 15～19年 6. 20年以上

問6 ボランティア活動者としての1か月のおおよその活動日数を教えてください。 【〇は1つだけ】
1. ほぼ毎日 2. 週に2～3日 3. 週に1日
4. 月に2～3日 5. 月に1日 6. 2、3ヶ月に1日以下

問7 ボランティアの活動を通じて良かったことは何ですか。 【あてはまるものすべてに〇】
1. 知識や見識が広がる 2. 地域に貢献している
3. 地域福祉について勉強になる 4. 高齢者や障害者の理解が深まる
5. 様々な人々と接することができる 6. 仲間ができる
7. 感謝される
8. その他（ ）

問8 ボランティアの活動について、どのように感じていますか。

① やりがい

【〇は1つだけ】

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 強く感じている | 2. 感じている |
| 3. あまり感じていない | 4. 感じていない |

② 負担感

【〇は1つだけ】

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 強く感じている | 2. 感じている |
| 3. あまり感じていない | 4. 感じていない |

問9 現在、ボランティアの活動をしている中で困っていることは何ですか。

【〇は5つまで】

1. 地域の付き合いが薄くなっている
2. 家族の理解がない
3. メンバーが定着しない
4. メンバーに世代・男女のかたよりがある
5. メンバーが高齢化してきている
6. 若い人が興味を持ちやすい活動ができていない
7. 若い人が参加しやすい活動ができていない
8. メンバーが仕事などで忙しく、活動できにくい
9. リーダーが育たない
10. やらされ感が強く、自発的な活動につながっていない
11. 他のグループや団体と交流する機会が少ない
12. 行政の理解や支援が足りない
13. 社会福祉協議会の理解や支援が足りない
14. 会議や活動の場所の確保に苦勞する
15. 活動資金が足りない
16. 活動に必要な情報や専門知識が不足している
17. 活動がマンネリ化してきている
18. 支援を必要とする人などの要求、希望に応えられないことがある
19. 支援を必要とする人などの情報が得にくい
20. 市民に情報提供する場や機会が少ない
21. 外部からの問い合わせや相談をいつでも受ける体制（連絡先、専従者）がない
22. その他（具体的に _____）
23. 特にない

問10 ボランティアの活動をする中で困ったときの相談相手について教えてください。

【〇は3つまで】

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 家族・親戚 | 2. 近所の人 |
| 3. 知人・友人 | 4. 同じ活動をしている仲間 |
| 5. 町内・自治会などの役員 | 6. 市役所 |
| 7. 保健センター | 8. 社会福祉協議会 |
| 9. ボランティア・市民活動センター | 10. 地域包括支援センター |
| 11. 民生委員児童委員・主任児童委員 | 12. 福祉委員 |
| 13. その他 () | |
| 14. どこに相談したらよいかわからない | |
| 15. 相談できる人はいない | |

問11 ボランティアの活動にあたり連携が必要と思われる他の組織団体は何ですか。

【〇は3つまで】

- | | | |
|---------------------|----------------|------------|
| 1. 町内会 | 2. 地域福祉活動推進委員会 | 3. 町内福祉会 |
| 4. 地区民生委員児童委員協議会 | | |
| 5. ボランティア団体 (具体的に) | | |
| 6. 老人クラブ | 7. 子ども会 | 8. 女性活動団体 |
| 9. 青年団 | 10. 自主防災会 | 11. 地域防犯会 |
| 12. 児童健全育成協議会 | 13. 消防団・自警団 | 14. 障害者団体 |
| 15. 医療機関 | 16. 学校 | 17. P T A |
| 18. 社会福祉施設 | 19. 市民活動団体 | 20. 商店・事業者 |
| 21. その他 () | | |

問12 ボランティアの活動をすすめていく上で、受けてみたい研修は何ですか。

【あてはまるものすべてに〇】

- | | | |
|---------------|------------------|---------------|
| 1. 相談援助の方法 | 2. 福祉制度、施設の解説 | 3. 保健、健康の知識 |
| 4. 地域福祉活動の進め方 | 5. 人権擁護、権利擁護 | 6. 福祉施策の動向等 |
| 7. 福祉施設等の見学 | 8. 地域懇談会の開催 | 9. 子育ての方法 |
| 10. 介護の方法 | 11. 介護予防 (認知症予防) | 12. 障害の理解を深める |
| 13. 防犯・防災 | 14. 消費者問題 | 15. 他の団体との交流 |
| 16. その他 () | | |

問13 ボランティアの活動を取り組みやすい区域について、どのようにお考えですか。

【〇は1つだけ】

- | | | |
|--------|----------------|---------|
| 1. 町内会 | 2. 小学校区 | 3. 中学校区 |
| 4. 連区 | 5. その他 (具体的に) | |

■ ボランティア活動に限らず地域での様々な福祉活動について
おたずねします。

問 1 4 様々な地域福祉活動を推進していく上で、豊川市社会福祉協議会に期待することは何
ですか。 【〇は3つまで】

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 活動場所の確保 | 2. 活動資金の援助 |
| 3. 活動を支援する備品の貸出し | 4. 活動上の相談体制の充実 |
| 5. 福祉関係情報の提供 | 6. 各機関や団体等との連絡調整 |
| 7. 情報収集・発信への支援 | 8. 住民に向けた地域福祉活動の啓発 |
| 9. 地域での福祉学習活動への支援 | 10. 研修制度など人材面での支援 |
| 11. グループ、団体の情報交換や交流の機会の充実 | |
| 12. その他（具体的に | ） |
| 13. 特にない | |

問 1 5 様々な地域福祉活動を推進していく上で、豊川市に期待することは何ですか。

【〇は3つまで】

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 活動場所の確保 | 2. 活動資金の援助 |
| 3. 活動を支援する備品の貸出し | 4. 活動上の相談体制の充実 |
| 5. 福祉関係情報の提供 | 6. 各機関や団体等との連絡調整 |
| 7. 情報収集・発信への支援 | 8. 住民に向けた地域福祉活動の啓発 |
| 9. 地域での福祉学習活動への支援 | 10. 研修制度など人材面での支援 |
| 11. グループ、団体の情報交換や交流の機会の充実 | |
| 12. その他（具体的に | ） |
| 13. 特にない | |

問 1 6 地域にある様々な福祉活動に必要な情報を、どこから得ていますか。

【〇は3つまで】

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 活動メンバーから | 2. 関連団体間の交流会から |
| 3. 上位団体から | 4. 区・町内会・自治会などから |
| 5. 市役所から | 6. ボランティア・市民活動センターから |
| 7. 社会福祉協議会から | 8. 講習会・学習会から |
| 9. インターネットから | |
| 10. その他（ | ） |

問 1 7 様々な地域福祉活動を行う上で、地域住民の要望をどのように把握していますか。

【あてはまるものすべてに○】

1. 地域住民から直接聞く
2. 各種団体から直接聞く
3. アンケート調査などから
4. インターネットから
5. 市役所から
6. ボランティア・市民活動センターから
7. 社会福祉協議会から
8. 市役所や社会福祉協議会などが開催している各種事業において
9. その他 ()

問 1 8 誰もが安心して暮らしていくために、地域で特に重要なことは何だと思えますか。

【○は3つまで】

1. 見守りや安否確認
2. ボランティア・市民活動の充実
3. 福祉教育の充実
4. 福祉サービスの情報提供の充実
5. 子育て支援の充実
6. 高齢者支援の充実
7. 障害のある人への支援の充実
8. 医療の充実
9. 健康づくりや介護予防の充実
10. 生きがいづくり・社会参加の促進
11. 生涯学習や生涯スポーツの充実
12. 防災・防犯体制の充実
13. 道路や施設のバリアフリー化の推進
14. 相談体制の充実
15. 災害時の避難誘導・助け合い
16. 地域活動やボランティア活動に取り組む人材の育成
17. 福祉サービス利用者の苦情解決の仕組
18. 福祉サービスの質を評価するための仕組
19. 判断能力に支障がある人への日常生活支援の充実
20. 福祉施設の整備
21. その他 ()

問 1 9 地域福祉活動を社会福祉協議会・関係団体・市民と協働で進めるにあたって、どのようなことが特に必要だと思いますか。 【あてはまるものすべてに○】

1. 市役所・社会福祉協議会・地域活動団体などとの交流の機会の確保
2. 市役所と各種団体、市民との役割分担の明確化
3. 地域活動団体などとの連携体制の構築
4. 地域活動団体などと住民の協力による福祉活動の推進
5. 地域活動団体などと住民が連携した防犯・防災の体制づくり
6. 公的な福祉サービスとボランティア・市民活動団体が提供するサービスのネットワーク化
7. インターネットなど、さまざまな情報媒体を活用した情報提供の充実
8. 福祉教育の充実
9. 地域福祉活動に対する表彰制度の仕組み
10. ボランティア・市民活動団体の育成支援
11. 福祉とまちづくりの連携
12. その他 ()
13. 特にない
14. わからない

問 2 0 地域の中で特に支援が必要と思われる方はどんな方々ですか。 【○は3つまで】

1. ひとり暮らしの高齢者
2. 高齢者のみの世帯
3. 障害者
4. 認知症の方
5. ひとり親家庭の方
6. 子育て中の方
7. 高齢者や障害者を介護している方
8. 不登校、ひきこもりの方
9. 低所得者
10. 外国人
11. その他 ()

問 2 1 ボランティア活動者以外の地域での役割があれば教えてください。

【あてはまるものすべてに○】

1. 町内会役員
2. 民生委員児童委員・主任児童委員
3. 福祉委員
4. ボランティア団体 (具体的に)
5. 老人クラブ
6. 子ども会
7. 女性活動団体
8. 自主防災会
9. 児童健全育成協議会
10. 青年団
11. 消防団・自警団
12. 市民活動団体
13. 障害者団体
14. P T A
15. その他 ()

■今後、住みよい福祉のまちづくりを進めていくために、地域福祉に関してのご意見やアイデアなどがありましたら、ご自由にお書きください。



A large rectangular box with a solid black border, containing ten horizontal dashed lines for writing.

ご協力ありがとうございました。